

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201800416 2018-1080 2018/09/28 (事故発生地) 熊本県	携帯電話機（スマートフォン） フリービット（株） TONE m15	事務所で当該製品を充電中、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品に内蔵のリチウムポリマー電池セルが内部短絡したため、出火に至ったものと推定されるが、焼損が著しいことから、電池セルが内部短絡した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、輸入事業者であるフリービット（株）は、2018年5月より当該型式品に電圧及び温度状態を監視するアプリを配信するとともに、2018年7月17日より内蔵バッテリーの最大充電電圧を4.35Vから4.2Vに低減させるファームウェアを配信している。	(受付:2018/10/22)
A201800426 2018-1025 2018/09/20 (事故発生地) 長崎県	除湿乾燥機 パナソニック エコシステムズ（株） F-YHF X120	当該製品を使用中、建物1棟を全焼、2棟を類焼する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品の焼損は著しく、樹脂製部品の大部分が焼失していた。○操作基板、制御基板及び電源コードの一部が確認できなかった。○電源コードが複数箇所で断線し、溶融痕が認められたが、一次痕、二次痕の特定には至らなかった。○内部配線、ヒーター、圧縮機等の残存した電気部品に出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/10/25)
A201800516 2018-1418 2018/11/21 (事故発生地) 長崎県	美顔器 (株)ビューティガレージ A-707	店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品はヒーター連続通電時の安全装置が付いていない設計であるため、空だきしてヒーターが過熱され、ヒーター周辺の樹脂製ビーカーが溶融及び変形してヒーターに接触し、出火に至ったものと推定されるが、使用者が使用後に電源スイッチをオフにしなかったことも事故発生に影響したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、輸入事業者である(株)ビューティガレージは、後継機種については異常温度対策として、温度ヒューズをヒーターの両側に配置するとともに水位センサーも設置している。	(受付:2018/12/03)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201800832 2019-0022 2018/05/20 (事故発生地) 北海道	電気シェーバー 日立マクセル(株)(現マクセル(株)) RM-706TS	当該製品を延長コードに接続して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○使用者は、当該製品付属のA Cアダプターを3口延長コードに接続して当該製品を充電し、就寝したところ、約3時間後に当該製品付近から出火した。○当該製品は全体的に著しく焼損しており、原形をとどめておらず、内蔵のニッケル水素電池等の電気部品は確認できなかった。○A Cアダプターに出力異常及び出火の痕跡は認められなかった。○事故発生時に当該製品付近で充電されていた携帯電話機も焼損していた。●当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があり、外部からの延焼の可能性も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/03/28)
A201900010 2019-0051 2018/01/06 (事故発生地) 長崎県	エアコン 三菱重工業(株)(現三菱重工サーマルシステムズ(株)) SRK22SD-N	当該製品及び建物2棟を全焼、3棟を類焼する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品を入手できなかった。○当該製品は全体的に著しく焼損しており、樹脂部分は焼失していた。○当該製品はファンモーターのコネクター部から出火することがあるとしてリコールされていたが、点検、改修品であるか確認できなかった。○電源プラグの栓刃の一部が溶融していた。○ファンモーター、基板等の電気部品が確認できなかった。●当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/04/03)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900034 2018-0482 2018/07/02 (事故発生地) 北海道	シュレッダー オーロラジャパン(株) AS50SBK	店舗で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○アルバイト従業員が当該製品を使用していたところ、爆発音とともに当該製品の動作が停止し、細断していた紙は焼損していた。○当該製品の電気部品に焼損は認められなかった。○当該製品の動作を確認したところ、モーターの回転軸がぶれており、モーターから連続して火花が発生した。○使用者は、当該製品本体を専用のダストボックスにセットせずに、ごみ箱の上に持って、紙を細断していた。○当該製品付近でエアダスター等のスプレー類は使用していないとの申出内容であり、店内にアルコール類の薬品は置かれていなかった。○同等品で動作確認を行った結果、モーターから一瞬火花が出るのが認められた。●当該製品は、可燃性ガス等にモーターから出た火花が引火し、細断中の紙を焼損したものと考えられるが、事故発生時の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/04/10)
A201900061 2019-0059 2019/03/29 (事故発生地) 岡山県	温水洗浄便座 TOTO(株) TCF4131	異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。	調査の結果、○当該製品は、本体中央部が焼損しており、基板、電気部品等を内蔵した樹脂製外郭、便座及び便蓋付近が焼損及び溶融していた。○樹脂製外郭内にあるACコントローラ基板のコネクターピン間でトラッキング現象の痕跡が認められたが、焼損が著しく、はんだ付け状態は確認できなかった。○樹脂製外郭の内方で尿等の成分が確認されたが、基板に接続されたコネクター樹脂及びケーブル被覆は著しく焼損しており、製品内部に浸入した液体がコネクター部に到達したか否かは確認できなかった。○当該製品内部の漏水箇所は特定できなかった。○当該製品は14年前に設置し、2～3年前から複数の機能に不具合が生じていたが、修理せずに使用し続けていた。●当該製品の内部基板において、コネクターピン間でトラッキング現象が発生し、出火したものと推定されるが、基板、コネクター樹脂及びコネクターケーブル被覆の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/04/22)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900086 2019-0253 2019/04/13 (事故発生地) 北海道	ビデオデッキ 松下電器産業(株)(現 パナソニック(株)) NV-HB40	火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が軽傷を負った。(A201900085と同一事故)	調査の結果、○当該製品、ブルーレイレコーダー及びテレビがテレビ台に設置されており、その付近が焼損していた。○当該製品は全体的に著しく焼損しており、原形をとどめていなかった。○当該製品内部は、ビデオテープ格納部の金属部品のみ残存しており、制御基板等の電気部品は焼失していた。○当該製品の電源コード及び電源プラグは確認できず、事故発生時、当該製品に電源供給されていたか否かは不明であった。○テレビ台付近の壁コンセントに当該製品及びブルーレイレコーダー以外の電気製品が接続されていたが、電源コードを残して焼失しており、型式等の詳細は不明であった。○ブルーレイレコーダーは、全体的に著しく焼損していたが、電気部品に出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったこと、事故発生時の詳細な状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/05/07)
A201900091 2019-0142 2019/04/04 (事故発生地) 沖縄県	ポータブルDVDプレーヤー (株)KOM(現(株) KOMが事業承継) PDDV-900T	事務所で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品をコピー機の上に置いて、ACアダプターを接続して充電していたところ、当該製品付近から出火し、当該製品周辺、コンセント付近の壁、天井の一部が著しく焼損していた。○当該製品本体は外郭全体が焼損しており、底面のバッテリーパックが破裂していたが、天面側よりも底面側の焼損が弱かった。○バッテリーパック内のリチウムイオン電池セルは著しく焼損し、内部電極の大部分が焼失していた。○ACアダプターの焼損は著しく、栓刃付近以外の電気部品は確認できず、内部配線に溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕か特定できなかった。○当該製品本体には、基板等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められず、また、コピー機から出火した痕跡は認められなかった。●当該製品の焼損は著しく、確認できない部品もあったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/05/08)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900092 2019-0248 2019/04/23 (事故発生地) 東京都	電気こたつ (株)山善 SES-752(B)	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品のヒーターユニットに掛け布団が接触する等で着火したものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、(株)山善では、ヒーターユニット取付部品の不具合によりヒーターユニットが落下するおそれがあるとして、平成28年4月6日にウェブサイトにて情報を掲載し、翌7日に新聞社告を行うとともに、同日以降、店頭告知やダイレクトメールの送付を行い、対象製品について製品回収及び返金を実施しており、当該製品は対象製品であったが、リコール未対策品であった。	(受付:2019/05/08)
A201900094 2019-0249 2019/03/27 (事故発生地) 東京都	照明器具(学習机用) (株)イトーキ DL-27	当該製品のスイッチを入れたところ、当該製品の内部部品を溶融する火災が発生した。	当該製品は、雑音防止用フィルムコンデンサーのはんだ付け部が接触不良となったことで、異常発熱し溶融したものと推定されるが、はんだ付け部で接触不良が生じた原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/05/08)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900138 2019-0390 2019/05/17 (事故発生地) 東京都	タブレット端末 レノボ・ジャパン(株) Z A O A 0 0 0 4 J P	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、バッテリーパック内部のリチウムイオン電池セルが内部短絡して異常発熱し、焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、内部短絡した原因の特定には至らなかった。	輸入事業者であるレノボ・ジャパン(同)は、事故の再発防止を図るため、2020年(令和2年)5月12日からホームページに情報を掲載し、当該製品の充電制御機能に係るソフトウェアアップデートを実施するとともに、一部のバッテリーパックについては無償検査及び交換を実施している。	(受付:2019/05/28)
A201900162 2019-0436 2018/07/16 (事故発生地) 神奈川県	投げ込み式湯沸器 (株)パアグ P O 5 F 0 7 R	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品の焼損は著しく、樹脂製本体外郭及びコントロールボックス外郭は原形をとどめていなかった。○本体内のヒーター端子カシメ部、ターミナルボックス内の配線等に断線や溶融は認められなかった。○コントロールボックス内のエアポンプ及び電源スイッチは焼失して確認できなかった。○コントロールボックス内の残存する温度切替スイッチ接点、電源スイッチの接点の一部及び接続コードに出火の痕跡は認められなかった。○壁コンセント及びデジタル式コンセントタイマーに出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/06/04)
A201900176 2019-0456 2019/04/13 (事故発生地) 神奈川県	タブレット端末 レノボ・ジャパン(株) Z A O H 0 0 2 7 J P	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、リチウムイオン電池セルが異常発熱し、焼損したものと推定されるが、焼損が著しく、電池セルが異常発熱した原因の特定には至らなかった。	輸入事業者であるレノボ・ジャパン(同)は、事故の再発防止を図るため、2020年(令和2年)5月12日からホームページに情報を掲載し、当該製品の充電制御機能に係るソフトウェアアップデートを実施するとともに、一部のバッテリーパックについては無償検査及び交換を実施している。	(受付:2019/06/07)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900285 2019-0666 2019/06/24 (事故発生地) 愛知県	リチウム電池内蔵充電器 豊鷹(株)(クロダルマ(株)ブランド) KS-14(クロダルマ(株)ブランド)	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は、純正のACアダプターに接続されたまま放置されており、充電開始から2時間30分後に発火した。○当該製品の焼損は著しく、樹脂の外郭ケースは焼失していた。○当該製品の内部にあった円筒形リチウムイオン電池セル5個のうち、2個はセル内部の電極体が焼損していた。○電池セル5個のうち、3個は確認できなかった。○内部の制御基板は焼失して確認できなかった。●当該製品の焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/07/22)
A201900297 2019-0780 2019/07/12 (事故発生地) 愛知県	リチウム電池内蔵充電器 (株)ハイスピリット pb-10000-p2-sm	当該製品を鞆に入れていたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品の樹脂製外郭は溶融していた。○制御基板は焼失して確認できなかった。○内蔵の角形リチウムポリマー電池セルの焼損は著しく、アルミラミネート外装フィルムは基板側の封止部が開口し、内部電極が露出していた。○電池セルの内部電極の焼損は著しく、負極及び正極に溶融痕が認められた。●当該製品は、内蔵の角形リチウムポリマー電池セルが内部短絡して異常発熱し、焼損したものと推定されるが、焼損が著しく確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/07/24)
A201900304 2019-0756 2019/06/29 (事故発生地) 愛知県	エアコン(窓用) (株)コロナ 不明	倉庫で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は倉庫内の窓枠に設置され、倉庫内の温度維持のため、3か月前から常時冷房で運転状態だった。○当該製品の焼損は著しく、電源コードの取り出し口がある側の樹脂部品の大部分が焼失していた。○圧縮機の配線端子部やオーバードリレーに出火の痕跡は認められなかった。○室外ファンモーター、室内ファンモーター及びドレン水蒸発用モーターの巻線に、溶融痕等の異常は認められなかった。○制御基板、圧縮機始動用コンデンサー及び電源コードは確認できなかった。●当該製品の残存する電気部品に出火した痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/07/26)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900318 2019-0761 2019/07/14 (事故発生地) 愛媛県	電気冷蔵庫 (株)日立製作所(現 日立グローバルライフソリューションズ(株)) R-726VFB	建物2棟を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。	調査の結果、○当該製品は全体的に焼損が著しく、側面及び背面の金属外郭は表裏共に焼損し、庫内の電気部品は、焼損物として下部に堆積していた。○当該製品は、リコール対象型式であるが、対策部品の電流ヒューズが切れた状態で残存していた。○コンプレッサーの運転用コンデンサーは焼失していたが、残存する端子に出火の痕跡は認められなかった。○コンプレッサー、ファンモーター、霜取りヒーター、内部配線等残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、コンプレッサーの始動用コンデンサーや一部の庫内部品等は確認できなかった。○電源コード及び電源プラグは回収されておらず、確認できなかった。●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/07/29)
A201900335 2019-0867 2019/07/00 (事故発生地) 東京都	除湿機 (株) コロナ CD-P6313	倉庫で当該製品を使用中、当該製品を溶融し、周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○食品工場の低温倉庫内で使用していた当該製品が焼損し、自然消火していた。○当該製品は約6年前に購入し、24時間365日連続運転を開始したが、取扱説明書に従ったフィルター等の清掃は行っていないことがなかった。○当該製品の外観は、樹脂部品のほとんどは溶け落ちて原形をとどめておらず、熱交換器及び圧縮機は倒れ、溶融した樹脂内に埋もれて一塊になっていた。○電源コードは、機器内側と機器外側の両方で数箇所断線し、溶融痕が認められた。○当該製品内部の圧縮機用運転コンデンサー付近の焼けが強く、当該コンデンサーは著しく焼損していたが、端子及び配線に出火の痕跡は認められなかった。○コントロール基板及び操作基板は焼損が著しく、電源入力部の3Aヒューズ等の部品は確認できなかったが、残さ物に出火の痕跡は認められなかった。○圧縮機、過電流リレー及びファンモーターに出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の圧縮機用運転コンデンサー又は電源コードから出火したものと考えられるが、当該製品の焼損は著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/08/05)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900345 2019-0786 2019/05/14 (事故発生地) 千葉県	携帯電話機（スマートフォン） フリービット（株）（トーンモバイル（株）ブランド） TONE m15（トーンモバイル（株）ブランド）	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	当該製品に内蔵のリチウムポリマー電池セルにおいて電池セルの内部短絡が発生し、高温ガスが噴出したことで出火に至ったものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、内部短絡した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、輸入事業者であるフリービット（株）は、2018年5月より当該型式品に電圧及び温度状態を監視するアプリを配信するとともに、2018年7月17日より内蔵バッテリーの最大充電電圧を4.35Vから4.2Vに低減させるファームウェアを配信している。	(受付:2019/08/07)
A201900350 2019-0886 2017/12/17 (事故発生地) 茨城県	ポータブルDVDプレーヤー (株)グリーンハウス GHV-PDV780K	店舗で当該製品を使用中、当該製品を溶融し、周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は、内蔵のバッテリーパックが焼損していた。○バッテリーパック内の角形リチウムポリマー電池セルは、アルミラミネートフィルム外装が焼損していたほか、電極体の焼損及び集電体の損傷が認められた。○基板等、その他の電気部品は確認できなかった。○ACアダプターに焼損は認められなかった。○焼損部を除く外部に割れや著しい焼損は認められなかった。○使用者によれば、事故発生当日までに当該製品に使用中の不具合はなく、当該製品を落下させたり、水にぬらしたことはないとの申し出内容であった。●当該製品の角形リチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火に至った可能性が考えられるが、当該製品の詳細な調査ができなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定はできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/08/08)
A201900388 2019-0909 2019/08/09 (事故発生地) 富山県	エアコン 三菱重工業（株）（現 三菱重工サーマルシステムズ（株）） SRK36ZH-W	学習塾で当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	当該製品は、ファンモーターのコネクター部で異常発熱が生じたため出火したものと推定されるが、コネクター部の焼損が著しく、異常発熱が生じた原因の特定には至らなかった。	三菱重工サーマルシステムズ（株）は、事故の再発防止を図るため、当該製品を含む対象機種について、2018年（平成30年）1月11日付けで同社ホームページに情報を掲載するとともに、同年5月30日には対象範囲を追加し、対象製品について無償で点検、改修を実施している。	(受付:2019/08/19)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900398 2019-0678 2019/07/04 (事故発生地) 岐阜県	エアコン（室外機） 日立ジョンソンコントロールズ空調（株） RAC-25FNX	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品の焼損は著しく、樹脂部品は全て焼失していた。○制御基板の焼損は著しく、基板の大部分が焼失して確認できなかった。○コンプレッサー、四方弁コイル、リアクター、ファンモーター及び配線に出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の確認できた電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、制御基板の大部分が焼失して確認できないことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/08/20)
A201900407 2019-0971 2019/08/13 (事故発生地) 滋賀県	扇風機 東京芝浦電気（株）（現東芝ホームテクノ（株）） D-30SC	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、長期使用（46年）により、モーター巻線の絶縁性能が低下し、レイヤショートが生じて出火に至ったものと推定される。	製造事業者である東芝ホームテクノ（株）は、事故の再発防止を図るため、長期使用の扇風機について、電気部品の経年劣化によって発煙、出火し、火災に至るおそれがあることから、2007年（平成19年）9月7日から「長年ご使用の扇風機についてのお知らせとお願い」として、扇風機の使用に当たっての注意事項をホームページに掲載し、異常に気付いたら直ちに使用を止め、販売店等に相談するよう呼び掛けている。また、2008年（平成20年）6月より関係工業会において、経済産業省と協力し、扇風機を含む長期使用の家電製品に関する「全国世帯向け注意喚起の保存版チラシ」を作成し、全国の各地方自治体の支援の元、消費者に直接配布している。	(受付:2019/08/22)
A201900412 2019-0983 2019/07/31 (事故発生地) 神奈川県	エアコン（室外機） ダイキン工業（株） R22ERS	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は、外郭及び内部が全体的に著しく焼損していた。○制御基板の1つが焼失し、加湿ファンモーターは未回収で確認できなかった。○使用者は事故発生直前に喫煙し、たばこの吸い殻を当該製品の前に置いたビニール袋の中に捨てていたほか、当該製品の前にはごみ袋、段ボールが置かれていた。●当該製品の前に置かれていた可燃物からの延焼により焼損した可能性が考えられるが、当該製品の焼損は著しく、確認できない部品もあることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/08/27)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900417 2019-0996 2017/12/17 (事故発生地) 埼玉県	ポータブルDVDプレーヤー セントレードM. E. (株) (現 テクタイト (株)) MPT-703W	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品のリチウムポリマー電池セルに内部短絡が生じたため、異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しいことから、電池セルが内部短絡した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、当該型式品は販売を終了している。	(受付:2019/08/29)
A201900439 2019-1036 2019/08/23 (事故発生地) 福岡県	エアコン 三菱電機 (株) MSZ-GXV25P	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は、電気部品が搭載された本体側面が焼損しており、ファンモーターの接続コネクタ一部が著しく焼損していた。○コネクタ部において、モーターへの電源供給用リード線が断線して溶融痕が認められ、モーター側接続用ピン(直流140V)が焼失していた。○当該製品全体に海塩成分(塩素、ナトリウム及びマグネシウム)並びに洗浄剤成分(リン)が検出された。○制御基板等のその他の電気製品に出火の痕跡は認められなかった。○室外機につながる配管内途中に必要なパテ埋めが施工されていなかった。○当該住宅は賃貸住宅で、現在の使用者はエアコン洗浄をしていなかったが、以前の使用状況は確認できなかった。●当該製品のファンモーター接続コネクタ一部において、接触不良により接触抵抗が増大したため、異常発熱し出火に至ったものと推定されるが、コネクタ一部の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/09/03)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900441 2019-1028 2019/08/03 (事故発生地) 千葉県	扇風機 三洋電機(株) EF-6UJ	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、長期使用(46年以上)により、モーター始動用コンデンサーの絶縁性能が低下し、内部短絡が生じて出火に至ったものと推定される。	三洋電機(株)(現 パナソニック(株))は、長期使用の扇風機について、2007年(平成19年)8月25日以降、毎年、新聞広告を掲載し、また、2007年(平成19年)9月からはテレビ広告を実施するなどして、使用の中止及び製品の廃棄を呼びかけている。	(受付:2019/09/03)
A201900458 2019-1047 2019/08/25 (事故発生地) 滋賀県	扇風機 シャープ(株) PJ-305KF	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品は長期使用(40年以上)により、モーター運転用コンデンサーの絶縁性能が低下して内部短絡が生じて、発煙に至ったものと推定される。	製造事業者であるシャープ(株)は、事故の再発防止を図るため、長期使用の扇風機について、電気部品の経年劣化によって発煙、出火し、火災に至るおそれがあることから、2007年(平成19年)9月7日から「長年ご使用の扇風機についてのお知らせとお願い」として、扇風機の使用に当たっての注意事項をホームページに掲載し、異常に気付いたら直ちに使用を止め、販売店等に相談するよう呼び掛けている。また、2008年(平成20年)6月より関係工業会において、経済産業省と協力し、扇風機を含む長期使用の家電製品に関する「全国世帯向け注意喚起の保存版チラシ」を作成し、全国の各地方自治体の支援の元、消費者に直接配布している。	(受付:2019/09/06)
A201900477 2019-1120 2019/08/11 (事故発生地) 東京都	照明器具 (株)日立製作所(現 日立グローバルライフソリューションズ(株)) 不明	当該製品を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品に当該事業者製の安定器が使われていたこと以外は、機種、型式、事故発生時の状況、使用状況等は全て確認できなかった。○当該製品を確認することができず、その損傷状況は特定できなかった。●当該製品の確認ができず、事故発生時の状況等も不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/09/12)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900505 2019-1155 2019/08/26 (事故発生地) 静岡県	電気掃除機(充電式、スティック型) ダイソン(株) SV10	当該製品を充電中、当該製品及び建物を全焼する火災が発生した。(20191075と同一事故)	調査の結果、○当該製品にACアダプターを接続して充電を行っていたところ、当該製品から出火した。○当該製品の焼損は著しく、樹脂製外郭は全て焼失していた。○モーター基板に出火の痕跡は認められなかった。○モーター、内部配線及びACアダプターは、焼失して確認できなかった。○当該製品に取り付けられたバッテリーパックは、電池セル間接続板の形状や制御基板の形状より、他社製の非純正バッテリーパックであることが確認された。○非純正バッテリーパック内部の電池セル6個は焼損が著しく、うち5個の電池セルは内部電極が焼損していた。●当該製品本体に取り付けられた非純正バッテリーパックのリチウムイオン電池セルが内部短絡し、異常発熱して出火に至った可能性が考えられるが、焼損が著しく、当該製品本体のモーターが確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/09/20)
A201900507 2019-1162 2019/09/16 (事故発生地) 神奈川県	電気冷凍庫 三つ星貿易(株) MA-100	店舗で当該製品を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○店舗で使用中の当該製品を清掃していたところ、底部から出火した。○当該製品の前面下部に配置された操作パネルの内側にある急速冷凍スイッチの周辺のみが焼損していた。○スイッチ内部の可動切片の一部とみられるものが、AC100Vが印加されていた固定接点に溶着していた。○スイッチ内部の可動切片を押さえているばねが欠損しており、確認できなかった。○スイッチ部の裏側は、ほこりが多量に堆積していたほか、温度調節ダイヤルのシャフトに腐食が認められた。○圧縮機等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。○当該製品は個人で使用していたものを3年前に店舗に譲渡したものであり、過去の詳細な使用環境等は確認できなかった。●当該製品は、急速冷凍スイッチ内部で可動切片を押さえるばねが外れたため、可動切片が外れてAC100Vが印加された端子間に接触して短絡し、出火に至ったものと推定されるが、可動切片及びばねを確認できず、詳細な使用状況が不明のことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/09/24)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900528 2019-1127 2019/09/12 (事故発生地) 石川県	ノートパソコン (株)東芝(現 Dyna book(株)) dynabook R 732/36F	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品のリチウムイオン電池セルが内部短絡したため、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、内部短絡した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、輸入事業者であるDynabook株式会社は、2020年(令和2年)7月31日より当該型式品を含む対象型式に対してバッテリー充電制御プログラムを自動配信し、製品の落下や高温下での使用などの外部要因が加わった場合にバッテリーが過度な発熱に至るおそれがあるとして注意喚起を実施している。	(受付:2019/09/27)
A201900544 2019-1248 2019/09/14 (事故発生地) 大阪府	エアコン ダイキン工業(株) FZ255X-W(推定)	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○事故発生時、当該製品は運転していなかった。○当該製品本体の外郭樹脂の一部は電源コード近傍を中心に熔融し、前面パネルは焼失していた。○電源コードはコンセントに接続され、丸まった状態で垂れ下がっていた。○電源コードの断線部に複数の熔融痕が認められたが、詳細は確認できなかった。○当該製品の外観からは前面パネルの焼失以外に異常は認められなかったが、詳細は確認できなかった。○コンセントに出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の電源コードの芯線が断線し、スパークが生じた際に出火した可能性が考えられたが、当該製品の詳細を確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/03)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900554 2019-1256 2019/09/28 (事故発生地) 東京都	電気掃除機（充電式、スティック型） ダイソン（株） DC61	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。（A201900780と同一事故）	調査の結果、○当該製品にネット通販で購入した非純正バッテリーを取り付けて充電していたところ、出火した。○当該製品の本体部とバッテリーが著しく焼損していた。○充電に使用されていた当該製品のACアダプターは焼損しておらず、出力電圧に異常は認められなかった。○当該製品のモーター及び基板は確認できなかった。○取り付けられていた非純正バッテリーの円筒形リチウムイオン電池セルは著しく焼損していた。○取扱説明書には、「出火のおそれがあるため、専用のバッテリーパック以外は使用しない。」旨、記載されている。●当該製品本体は、取り付けられた非純正バッテリーからの延焼により焼損した可能性が考えられたが、当該製品の詳細な状態が確認できないことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/04)
A201900566 2019-1278 2019/09/03 (事故発生地) 三重県	冷風機 GAC（株）（現（株）デンソーエアークール） 10HF-SU1又は10HR-SU1	工場で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は魚油を加工する工場の作業場で使用されており、事故発生当日は休業日のため無人で、付近には魚油を拭き取ったウエスが置かれていた。○当該製品の焼損は著しく、樹脂部品の大部分が焼損していた。○電源スイッチは焼失して確認できず、運転状態は特定できなかった。○圧縮機、圧縮機用コンデンサー、端子台、ドレン満水スイッチ、ファンモーター及び電源コードに、出火の痕跡は認められなかった。○ファンモーター始動用コンデンサー、リレー類等のその他の電気部品は、焼失して確認できなかった。●当該製品の確認できた部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品もあることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/08)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900654 2019-1290 2019/09/21 (事故発生地) 大阪府	温水洗浄便座 東陶機器(株)(現 T O T O (株)) T C F 9 7 5 L	当該製品から発煙する火災が発生した。	当該製品は、長期使用(20年)により、流調ユニットから漏水が発生し、漏れた水がドライバ基板に掛かり、抵抗値不良が発生したことでコントロール基板の降圧回路が過負荷となって異常発熱したものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/21)
A201900666 2019-1307 2019/09/23 (事故発生地) 大阪府	食器洗い乾燥機(ビルトイン式) リンナイ(株) R K W - 4 0 3 C	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品の水槽に水筒、コップ2個を入れて乾燥運転していたところ、水槽底部のヒーターカバーから炎がでた。○当該製品は、水槽内のヒーターカバーが一部熱変色していたが、樹脂製の水槽及び本体外郭等に焼損は認められなかった。○ヒーターカバー内のヒーターパイプ中央部の表面が劣化し、先端部が垂れ下がリステンレス製の遮熱板に接触していた。○接触部分においてヒーターパイプと遮熱板が溶着し、遮熱板の裏側に熔融が認められた。○ヒーター中央部のヒーターコイルは焼失していたが、残存するヒーターコイルに粗密等の巻むらは認められなかった。○ヒーターのオンオフを制御するリレーの接点は、オフ状態であり、動作確認の結果、異常は認められなかった。●当該製品は、ヒーターパイプの絶縁が劣化し、コイルと遮熱板間でトラッキング現象等の放電現象が生じた可能性が考えられるが、絶縁劣化の原因がヒーターの不具合によるものか、異物等の付着によるものか特定できず、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/21)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900836 2019-1694 2019/11/14 (事故発生地) 大阪府	I H調理器 三化工業(株) S I H-C 2 2 4 A	当該製品の上に置いていた可燃物及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○使用者は当該製品を数年間使用しておらず、トッププレート上に可燃物等を置いており、事故発生時は不在であった。○当該製品のトッププレート上で可燃物が溶融した痕跡が認められた。○当該製品のトッププレート、操作部及び本体内部に異常は認められなかった。○当該製品の電源スイッチと加熱キーは隣接して配列されていた。○当該製品は電源スイッチを押し、隣接する加熱キーを1秒間押すと加熱を開始する構造であり、電源スイッチの自動オフ機能は備えていなかった。○使用者は室内で猫2匹を放し飼いにしていた。●当該製品のスイッチが意図せず入ったため、ラジエントヒーターが通電状態となり、上に置いていた可燃物が焼損したものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況等が不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/25)
A201900842 2019-1692 2019/11/04 (事故発生地) 岩手県	空気圧縮機 (株)ナカトミ C P-1 4 5 0	当該製品を使用後、電源を入れたままにしたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	事故原因は、当該製品のモーターが低温環境下で起動不良を起こして過負荷状態となり、過大な電流が流れた際に、製品の仕様(定格値)に適合していないサーキットブレーカー(電流遮断装置)が使用されていたため、安全装置が作動せず、モーターが過熱し出火したものと考えられる。	輸入事業者である(株)ナカトミでは、2007年(平成19年)1月14日にホームページへの情報掲載及び新聞社告を行うとともに、販売店における店頭掲示等により注意喚起を行い、対象製品の無償回収を実施している。	(受付:2019/11/26)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900846 2019-1700 2017/10/15 (事故発生地) 神奈川県	ノートパソコン レノボ・ジャパン(株) 2333-B45	事務所で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○事故発生時、当該製品のACアダプターは電源に接続されていた。○当該製品の本体の電源ポートにACアダプターが接続されていた痕跡は認められなかった。○当該製品の本体及び取り付けられていたバッテリーパックに出火の痕跡は認められなかった。○当該製品のACアダプターのDC出力コードが断線して断線部に溶融痕が認められたが、通常の使用において外力が加わらない位置であった。○ACアダプターのDC出力コード先端の接続DCプラグは回収されておらず、確認できなかった。●当該製品の本体に出火の痕跡は認められなかったが、ACアダプターの一部に確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/26)
A201900886 2019-1683 2019/11/16 (事故発生地) 大阪府	エアコン ダイキン工業(株) AN28GRSJ-W	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	事故原因は、当該製品のファンモーターの製造工程上の不具合により、ファンモーターに内蔵された電子部品(チップコンデンサー)がショート(短絡故障)し、過大電流が電気回路に流れたことでファンモーターが発熱・発火し、出火に至ったものと考えられる。	製造事業者であるダイキン工業(株)では、事故の再発防止を図るため、2014年(平成26年)10月17日にホームページへ情報を掲載し、翌10月18日に新聞社告を実施するとともに、web情報受付、販売ルートへのダイレクトメールの発送、販売リストによる架電連絡、チラシの作成および配布を行い、当該製品を含む対象製品について、無償で点検、修理を実施している。また、2015年(平成27年)5月15日には対象範囲を追加する旨、ホームページに情報を掲載し、翌5月16日に新聞社告を実施している。	(受付:2019/12/05)
A201900903 2019-1791 2019/11/15 (事故発生地) 兵庫県	電気ストーブ(カーボンヒーター) ユアサプライムス(株) YA-C945SR(WH)	当該製品を焼損する火災が発生した。	事故の原因は、当該製品の強弱切替え用に使われているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、出火したものと考えられる。	輸入事業者であるユアサプライムス(株)では、事故の再発防止を図るため、2016年(平成28年)3月19日よりホームページに情報を掲載し、新聞社告を行うとともに、販売店への協力要請を行い、対象製品について無償点検及び修理を実施している。	(受付:2019/12/06)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900930 2019-1844 2019/12/09 (事故発生地) 大阪府	リチウム電池内蔵充電器 ティ・アール・エイ（株） CHE-050	当該製品を充電中、当該製品を焼損し、 周辺を汚損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品に付属のACアダプター及び充電ケーブルを接続して充電を行っていたところ、約11時間後に当該製品から出火した。○当該製品は、樹脂製外郭ケースが著しく焼損し、二つに分割した状態で片側のケースはフローリングの床の上に飛散し、ケースの一部が変形していた。○当該製品内蔵の角形リチウムポリマー電池セル3個のうち、電池セル1個は本体のケースとともに床の上に飛散し、電池セルの一部が変形していた。○3個の電池セルはいずれも著しく焼損し、負極銅箔は残存していたが、正極アルミ箔及びセパレーターは焼失していた。○制御基板、ACアダプター及び充電ケーブルに出火の痕跡は認められなかった。●当該製品は、本体内蔵の角形リチウムポリマー電池セルが異常発熱して焼損したものと考えられるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/12/12)
A201900994 2019-1958 2019/11/25 (事故発生地) 神奈川県	電気掃除機（充電式、スティック型） ダイソン（株） 不明	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品に非純正バッテリーパックを取り付けた状態で充電を行っていたところ、爆発音があり、当該製品及びその周辺から出火した。○当該製品の焼損は著しく、型式等は確認できなかった。○当該製品のモーター制御基板に出火の痕跡は認められなかった。○充電に使用されていた当該製品の充電器は焼失し、確認できなかった。○当該製品に取り付けられていたバッテリーパックは、電池セル同士を相互接続している接続金具の形状より、他社製の非純正品バッテリーパックであることが確認された。○バッテリーパックの円筒形リチウムイオン電池セル6個のうち5個が確認でき、そのうち2個の電池セルに破裂が認められた。○取扱説明書には、「出火のおそれがあるため、専用のバッテリーパック以外は使用しない。」旨、記載されている。○事故発生時、当該製品の近傍には充電中の他社製モバイルバッテリーがあり、著しく焼損し、電池セルが破裂していた。●当該製品本体に出火の痕跡は認められないことから、取り付けられていた非純正バッテリーパック又は当該製品の近傍にあった他社製のモバイルバッテリーからの延焼により焼損した可能性が考えられるが、当該製品の充電器を確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2020/01/07)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NTE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201901153 2019-2225 2020/01/26 (事故発生地) 東京都	電気こんろ 日立熱器具(株)(現日立グローバルライフソリューションズ(株)) HT-1250(組み込み先のキッチンメーカーは不明)	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	事故原因は、身体等が当該製品のつまみに誤って触れてスイッチが入り、当該製品の上に置いていた可燃物などが燃えたものと考えられる。	小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ(つまみが飛び出しているもの)については、身体や荷物がつまみ(スイッチ操作部)に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者においてつまみ(スイッチ部)の無償改修を行っている。さらに、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー13社は、2007年(平成19年)6月20日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、100%改修を目指した抜本的対策を、2007年(平成19年)7月3日及び同年7月31日に公表し、改修を進めている。「一口電気こんろ」と同様のスイッチ構造を持つ「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」については、2007年(平成19年)8月1日に改修対象に加え、新聞社告を掲載し、また、新聞折り込みチラシの配布を全国で展開する等改修を進めている。	(受付:2020/02/14)
A202000037 2020-0079 2020/04/06 (事故発生地) 愛知県	電子レンジ 小泉成器(株) KRD-0106	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	事故原因は、当該製品を使用する際に、扉を開閉し、電源の入切が繰り返されることで、ドアの開閉を検知するスイッチが接触不良となり、スパークが発生し、トラッキング現象(絶縁破壊による短絡)が起り、出火に至ったものと考えられる。	輸入事業者である小泉成器(株)は、当該製品を含む対象機種について、事故の再発防止を図るため、2007年(平成19年)9月12日に新聞社告を掲載し、使用の中止を呼び掛けるとともに、無償改修を実施している。また、同社では、2008年(平成20年)3月以降複数回にわたり、テレビCM放送で注意喚起を行い、対象製品について無償改修を呼び掛けている。	(受付:2020/04/14)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201800538 2018-1451 2018/11/25 (事故発生地) 徳島県	石油給湯機 (株)長府製作所 I B F - 4 2 2 D S	当該製品のスイッチを入れたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、長期使用(22年)に伴う燃焼筒及び熱交換器下部のフィンにすすが堆積して排気不良を引き起こし、異常過熱状態が発生していたことから、着火不良や不完全燃焼が発生して消音室内に灯油がたまり、また、燃料にガソリンが混入したことで燃焼効率が上がったため、火勢が大きくなり、消音室内にたまった灯油に着火したものと推定されるが、使用者が事故発生以前から当該製品の異常を認識しながら使用を継続していたことも事故発生に影響したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/12/10)
A201800696 2018-1844 2019/01/25 (事故発生地) 山口県	開放式ガス温風暖房機(LPガス用) (株)ノーリツ G F H - 4 0 0 3 S	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。	当該製品の残存する部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、一部の部品が確認できなかったため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/02/07)
A201900097 2019-0239 2019/05/03 (事故発生地) 鳥取県	ガスこんろ(都市ガス用) パロマ工業(株)(現(株)パロマ) P A - S E 6 0 0	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、左こんろ器具栓付近及びその後方のガス接続口付近が著しく焼損していることから、いずれかにガス漏れがあり、漏れたガスに何らかの火源が引火したものと考えられるが、これら部位の焼損が著しく、ガス漏れについて確認できなかったこと、事故発生時の詳細な状況が不明のため火源を特定できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/05/10)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900624 2019-1366 2019/10/04 (事故発生地) 岩手県	半密閉式（CF式）ガス ふろがま（LPガス用） 高木産業（株）（現 パー パス（株）） TP-A11K	当該製品及び建物を全焼する火災が発生した。	当該製品は、確認できた焼残物に異常は認められなかったことから、空だきにより事故に至ったと推定されるが、空だき防止装置が作動しなかった原因及び事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、機器に貼付けの注意ラベルや取扱説明書及びホームページ等に空だきの注意喚起を記載しており、使用者に必ず十分な水が浴槽に入っていることを確かめていただくようお願いしている。	(受付:2019/10/17)
A201900651 2019-1287 2019/10/09 (事故発生地) 北海道	石油ストーブ（半密閉式） サンボット（株） KSH-5BS-K4 G	事務所で異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	当該製品の点火タイマーは「切」の状態であり、運転されていなかった可能性が高いものの、リード線に溶融痕やかしめ部の溶断が認められことから、何らかの要因により操作部内部から出火したものと推定されるが、出火原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/18)
A201900699 2019-1288 2019/10/07 (事故発生地) 北海道	石油温風暖房機（密閉式） (株) コロナ FF-VG4215S	当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品は、気化ヒーターのリレー接点部が溶着して電源プラグをコンセントに接続したときから気化ヒーターが連続通電状態となり、且つバーナー下部に取り付けられた気化器サーモスタットの動作不良により、気化器のアルミ製ポット部が過熱されて溶融し、底面に垂れ落ちて送風ホースを焼損したものと推定されるが、当該製品にエラー表示が出ていたにもかかわらず、使用者が電源プラグを抜かなかったことも事故発生に影響したものと考えられる。なお、取扱説明書には、「エラーが表示されたときは、取扱説明書に記載された処置方法により対処すること。調べても良くならない場合は、電源プラグを抜いて販売店等へ連絡する。」旨、記載されている。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/28)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900905 2019-1786 2019/11/20 (事故発生地) 北海道	ガスこんろ（LPガス用） パロマ工業（株）（現（株）パロマ） PD-DR301WFA-L	当該製品を使用中、着衣に着火する火災が発生し、1名が死亡した。	事故発生現場、使用者のやけどの状況、着衣が合成繊維主原料のカーディガンであることなどから、当該製品を使用中にこんろの火が着衣に着火したものと推定されるが、当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況も不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者は取扱説明書に、「使用中はバーナ付近に触れないように注意する。衣服に炎が写ったりする場合があります。」と掲載し、注意喚起を行っている。	(受付:2019/12/06)
A201900911 2019-1620 2019/11/11 (事故発生地) 北海道	ガスこんろ（LPガス用） （株）ハーマン（（株）ノーリツブランド） C3S05PWA（（株）ノーリツブランド：型式N3S05PWASKSTE）	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	当該製品は、ガスコントロールユニット内2次側の奥こんろ用Oリングの組付不良により、当該箇所からガスが漏えいし、滞留していたガスにグリル点火時のスパークが引火したものと推定される。	再発防止措置として、（株）ハーマンは2020年1月31日より、ガスコントロールユニットの組み立て検査工程の見直し、検査治具の改善を行っている。	(受付:2019/12/09)
A201900933 2019-1834 2019/12/03 (事故発生地) 北海道	石油ストーブ（密閉式） サンボット（株） FFR-705KF	当該製品及び建物を全焼する火災が発生し、2名が死亡した。	当該製品は、燃焼部に異常なすすの発生は認められず、背面の焼けから出火後も稼働していたと推定されたことから、使用中に洗濯物が接触する等して出火した可能性があるが、焼損が著しく、全ての電気部品等を確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/12/13)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900945 2019-1863 2019/12/07 (事故発生地) 秋田県	屋外式（RF式）ガス瞬間湯沸器（LPガス用） (株)ノーリツ GQ-2420WZ-2	施設で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、配管カバー内から出火したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/12/17)
A201900949 2019-1864 2019/12/12 (事故発生地) 石川県	ガスこんろ（LPガス用） (株)パロマ IC-N99H-R	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品は、天板上に敷かれたシートやバーナーキャップの詰まり等により、右こんろの炎が下方に向き、当該製品内部の油分に着火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品等があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお製造事業者は取扱説明書に、「可燃物をおかない」、「（アルミはく製する受け皿など）市販の補助具を使用しない」、「煮こぼれたときはお手入れする」、「内部に多量の煮汁などが入った場合、点検をする」旨を掲載し、注意喚起を行っている。	(受付:2019/12/18)
A201900950 2019-1877 2019/12/07 (事故発生地) 愛知県	屋外式（RF式）ガスふろがま（LPガス用） (株)ノーリツ GSY-131D	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、内部配線が誤接続されていたため、浴槽の排水栓の閉まりが悪く、湯沸かし中に空だき状態になった際、空だき防止装置が機能せず、バーナー燃焼が継続し、ゴム製の循環パイプが過熱し、出火に至ったものと考えられ、修理完了時のサービスマンの点検確認が不十分であった火災と推定される。	再発防止措置として、(株)ノーリツは、全国各エリアで定期的開催されるサービス業務委託店の会議で、修理後の機器点検は確実にを行うことを周知・徹底する。また、注意喚起の通達文書をサービス業務委託店に発行することとする。	(受付:2019/12/19)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201901018 2019-2013 2019/12/30 (事故発生地) 京都府	ガストーチ コールマンジャパン(株) 170-8075	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、長期使用(7年)により器具栓に装着された2個のOリングが圧縮永久ひずみを生じ、楕円に変形したことでガスをシールできなくなり、使用時に器具栓つまみ部から漏れたガスに火口の炎が引火したものと考えられる。	再発防止措置として、コールマンジャパン(株)は、自社ホームページにOリングの経年劣化に関する注意書きを記載し、10年を目安に点検等を行ってもらうよう記載することとした。	(受付:2020/01/16)
A201901019 2019-1978 2019/12/26 (事故発生地) 北海道	石油ストーブ(半密閉式) サンポット(株) KSH-7011RC Q	当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生した。	当該製品は、電磁弁からポットへ向かう送油管のろう付け部が外れたため、灯油が漏れ、使用時に燃焼炎が着火して火災に至ったものと推定されるが、当該箇所は全周にろう材が残存しており、ろう付け不良を断定できず、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2020/01/16)
A201901033 2019-2037 2019/12/17 (事故発生地) 東京都	石油ストーブ(開放式) (株)コロナ SX-B27WY	当該製品を焼損する火災が発生した。	使用者が、消火した当該製品に給油した際に灯油がこぼれ、本体高温部に掛かって事故に至ったものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2020/01/20)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201901084 2019-2095 2020/01/13 (事故発生地) 広島県	石油ふろがま (株)長府製作所 CK-11S	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクター（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、浴槽排水栓の閉め方が不十分で空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	(株)長府製作所は、当該製品を含む対象機種について、修理・点検時の点検用コネクターの戻し忘れによる空焚き事故が発生したことから、事故再発防止のため、平成19年7月27日にプレスリリース及びHPに情報掲載し、点検用コネクターが付属する全ての機種について、無償点検により点検用コネクターの回収を実施。他の対象機種と一部構造等が異なる2機種（CK-11及びCK-11S）は、空焚き防止回路が不安定な際、空焚き防止装置の作動頻度が多くなり修理等の依頼が増え、点検用コネクターの戻し忘れの可能性が高くなるため、安定的な作動確保のため基板交換も実施。周知のため平成19年7月28日に新聞社告、平成21年10月～平成22年3月までTVCM放映、継続的に販売・サービス店による修理・点検時に対象機種がある場合、確認と回収等の徹底、ポスター掲示、店頭チラシ配布、新聞折込みチラシ等による呼び掛けを行っている。	(受付:2020/01/28)
A201901091 2019-2122 2020/01/16 (事故発生地) 大阪府	ガスふろがま用バーナー (LPガス用) (株)世田谷製作所 TA-097UET	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	事故原因は、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部（整圧器）のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁）に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられる。	製造事業者である(株)世田谷製作所では、平成19年4月19日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象商品について無償改修を実施している。	(受付:2020/01/30)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201901108 2019-2065 2019/12/02 (事故発生地) 北海道	石油ストーブ（半密閉式） (株) トヨタミ HR-650C	建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。	当該製品の残存する部品に出火の痕跡は認められないことから、当該製品の上面ガードに乗せられていた可燃物が当該製品の熱で出火し、延焼した可能性が考えられたが、当該製品の焼損が著しく、確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2020/02/03)
A201901109 2019-2141 2020/01/25 (事故発生地) 千葉県	屋外式（RF式）ガス給湯器（LPガス用） (株) 長府製作所 GK-1600K	当該製品を使用中、当該製品の外装が変形する火災が発生した。	当該製品は、何らかの原因で未燃ガスが当該製品内部に滞留して異常着火に至り、前面パネルが変形した可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2020/02/04)
A201901126 2019-2169 2020/01/25 (事故発生地) 茨城県	石油ストーブ（開放式） (株) トヨタミ RS-D305E	車庫で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品を確認できず、事故発生時の詳細な状況も不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2020/02/06)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201901159 2019-2249 2020/01/12 (事故発生地) 神奈川県	ガス栓（LPガス用） 光陽産業（株） GB371PZ5-15A	飲食店でガスフライヤーを使用中、爆発を伴う火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、ガス入口側内外に油污れが付着したことから、フレキ管接続部のストップリングが滑りやすくなっていたため、ナットが外れやすくなっていた状態のフレキ管に何らかの外力が加わった際にフレキ管接続部が外れかかってガス漏れが発生し、漏れたガスに使用中のガスフライヤーの火が引火したものと推定されるが、フレキ管接続部が外れかかった時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2020/02/17)
A201901162 2019-2250 2019/11/24 (事故発生地) 岡山県	屋外式（RF式）ガス瞬間湯沸器（都市ガス用） 高木産業（株）（現 パーパス（株）） TP-PS16HX	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、不完全燃焼防止装置の付いていない製品であり、長期使用（28年）により、熱交換器にすすが付着する等により不完全燃焼が生じていたため、火の粉が排気ガス中の未燃ガスに着火して排気口から炎が出た際、使用者が事故発生数日前に保温のため当該製品の周りに巻いていた段ボールに着火したものと推定される。なお、取扱説明書には、「機器及び排気口の周辺に燃えやすいものを置かない。」旨、記載されている。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2020/02/18)
A201901163 2019-2251 2020/02/02 (事故発生地) 埼玉県	石油温風暖房機（開放式） （株）コロナ FH-M2513Y	当該製品及び建物2棟を全焼、3棟を類焼する火災が発生した。	当該製品の残存する部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、焼失して確認できない部品があり、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2020/02/18)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A202000053 2020-0131 2020/04/05 (事故発生地) 大阪府	ガストーチ コールマンジャパン（株） 170-8075	当該製品を点火したところ、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品は、購入後短期間で内部のリングに圧縮永久ひずみが生じてガスをシールできなくなってガスが漏れたこと、使用者がガス漏れを認識しながらそのまま使用したことで調整つまみ側から漏れたガスに火口の火が引火したものと推定されるが、リングの材質に異常があるかどうかを特定できず、圧縮永久ひずみが発生した原因の特定には至らなかった。なお、取扱説明書には、「ガスカートリッジ(容器)を取り付けた際、ガス漏れ(玉ねぎの腐ったニオイがする)と思われる場合は、火気のない屋外に持ち出し、ガスをすべて発散させる。」旨、記載されている。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2020/04/20)
A202000115 2020-0233 2020/05/14 (事故発生地) 京都府	ガス栓（都市ガス用） （株）藤井合金製作所 FV718A	学生寮で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、機器が接続されていない栓を使用者が誤開放したためガスが漏れ、ガスこんろが点火されたことで漏れたガスに引火したものと推定されるが、焼損が著しく、過流出安全機構の動作状態を確認できなかったことから、製品起因であるか否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2020/05/21)
A202000264 2020-0498 2020/05/21 (事故発生地) 神奈川県	ガストーチ （株）G&Gエンタープライズ なし	当該製品に他社製のカセットボンベを接続して使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品は、取扱説明書が添付されておらず、販売店が作成して添付した取扱説明書の不備により、使用者がカセットボンベを正しく装着できなかったため、着火時にカセットボンベが外れて漏れたガスに引火したものと推定される。	再発防止措置として、（株）G&Gエンタープライズは、取扱説明書を作成して製品に添付するとともに、カセットボンベの取付動画を販売店へ配布することとした。	(受付:2020/07/17)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201800823 2019-0013 2019/02/10 (事故発生地) 青森県	除雪機（歩行型） ヤナセ産業機器販売（株） 810HST	当該製品を起動したところ、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品は、キャブレター付近から漏れた燃料に着火して出火に至ったものと推定されるが、燃料漏れが、プライマーボタンの使用過多による燃料過剰供給によるものか、キャブレター又は燃料ホースの経年劣化によるものかは特定できなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/03/28)
A201900355 2019-0891 2019/04/09 (事故発生地) 広島県	踏み台（アルミニウム合金製） コーナン商事（株） KAF-3376	当該製品を使用中、転倒し、右足首を負傷した。	調査の結果、○玄関で照明器具を外そうと使用者が初めて当該製品の天板上がったところ、当該製品が不安定となり、天板から転落したとの申出内容であった。○当該製品は、(独)国民生活センターで調査したところ、片側の天板及び支柱全体がねじれたように変形しており、天板に樹脂部品の破損箇所と対応した位置に局所的な変形が認められた。○天板の両端に取り付けられている樹脂部品に割れがみられたが、当該部品は天板及び支柱の端面を保護するもので強度部材ではなかった。○当該型式品は、SG基準（CPSA 0066:1999「住宅用金属製踏み台の認定基準及び基準確認方法」）に適合している。○当該製品を確認できず、事故発生時の詳細な状況も不明であった。●当該製品の天板に使用者が初めて乗った際にバランスを崩して転倒したものと推定されるが、当該製品を入手できず、寸法、硬さ、強度及び事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/08/09)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900156 2019-0416 2019/05/22 (事故発生地) 大阪府	電動アシスト自転車 パナソニック サイクルテック(株) BE-END635G	当該製品からバッテリーを取り外して充電中、当該製品のバッテリーを焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	当該製品のバッテリーパックに内蔵されたリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。	製造事業者であるパナソニック サイクルテック(株)では、再発防止措置として、2020年(令和2年)4月21日付けでホームページに情報を掲載するとともに、同月22日に新聞社告を行い、2012年(平成24年)10月から2014年(平成26年)12月に製造されたバッテリーパックを対象に無償で製品交換を実施している。	(受付:2019/06/03)
A201900221 2019-0612 2019/06/09 (事故発生地) 岡山県	電動車いす(ジョイスティック形) WHILL(株) WHILL Model A	当該製品を使用中、側溝へ転落しているところを発見され、病院へ搬送後、死亡が確認された。	調査の結果、○使用者は、自宅近くのガードレールのない舗装された道路脇の側溝に、当該製品とともに転落した状態で発見されており、事故発生時に目撃者はいなかった。○使用者は、当該事故の数時間前に事故現場付近で転倒事故を起こしていたが、そのまま当該製品で帰宅していた。○外観に、走行に支障のある変形、不具合等は認められなかった。○当該製品は電装品が浸水しているため電気回路の自己診断機能により走行ができない状態であり、動作状況を確認することができなかった。●当該製品は、使用者が操作を誤って転落した可能性が考えられるが、動作確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/06/25)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900572 2019-1267 2018/03/23 (事故発生地) 大阪府	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) A6L7	当該製品で走行中、ハンドルが不安定になり、転倒、負傷した。 (重傷)	当該製品は、ハンドルがロックされた状態で過大な力が加わると使用者に異常を知らせるためにハンドルロックのケースを意図的に破損させる設計であったが、ケースが破損すると内部のロックレバーの動きをガイドする溝が広がってロックレバーがカムから外れ、振動等でロックレバーが動いて意図せずロックが掛かる危険性に対して、技術的な保護対策が講じられていなかったため、ハンドルロックのケースが破損していた状態で走行した際に突然ハンドルがロックしたものと推定される。	再発防止措置として、ブリヂストンサイクル(株)は、2019年6月24日より、対象製品について、無償点検及び保護対策済品への改修を実施している。	(受付:2019/10/09)
A201900574 2019-1282 2011/11/10 (事故発生地) 不明	自転車 ブリヂストンサイクル(株) AB7STP	当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、顔を負傷した。 (重傷)	調査の結果、○当該製品で走行中にハンドルがぐらぐらする感じが発生し、急に前輪がロックして前転したとの使用者からの申出内容であった。○当該製品のフラップ付き前泥よけは、先端部が反転して上向きに変形し、タイヤと接していた。○前泥よけステーは、上側に持ち上げられたように変形していた。○ハンドルの回転軸部及びヘッド部品等(ハンドルロック、上玉押し等)はスムーズに回転し、がたつきは認められなかった。○同型品の前泥よけを装着した車両を用いて、前泥よけの強度を確認したところ、BAA基準を満たしていた。○同型品の前泥よけを装着した車両を用いて、異物の巻き込みを想定した再現試験を行った結果、当該製品と酷似した結果が得られた。●当該製品は、走行中に前輪左側に異物が巻き込まれたため前輪がロックし、転倒したものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/09)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900576 2019-1284 2012/04/03 (事故発生地) 東京都	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) A6L7	当該製品で走行中、フレームが破断し、転倒、負傷した。	調査の結果、○坂道を登り切り、シフトレバーを操作して変速ギアを1から2に切り替えたところ、突然フレームが破断して右側に転倒したとの使用者からの申出内容であった。○メインフレームがドライブユニットブラケット付近で破断していた。○メインフレームのブラケットの溶接ビード際に疲労破壊に特有のビーチマークが認められた。○メインフレームの破面は、地面側は黒く汚れており、天面側に比較的新しく凹凸のある破面が認められた。○ヘッド部の下わん及び下玉押しにリテーナーと強く接触した痕跡が認められた。●当該製品は、メインフレームのドライブユニットブラケット付近の溶接ビード際に亀裂が発生し、その後の使用に伴い亀裂が徐々に進展し、破断したものと推定されるが、亀裂が発生した時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/09)
A201900579 2019-0518 2013/12/17 (事故発生地) 愛知県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) CJB6TP	当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、右膝を負傷した。	当該製品は、ハンドルがロックされた状態で過大な力が加わると使用者に異常を知らせるためにハンドルロックのケースを意図的に破損させる設計であったが、ケースが破損すると内部のロックレバーの動きをガイドする溝が広がってロックレバーがカムから外れ、振動等でロックレバーが動いて意図せずロックが掛かる危険性に対して、技術的な保護対策が講じられていなかったため、ハンドルロックのケースが破損していた状態で走行した際に突然ハンドルがロックしたものと推定される。	再発防止措置として、ブリヂストンサイクル(株)は、2019年6月24日より、対象製品について、無償点検及び保護対策済品への改修を実施している。	(受付:2019/10/09)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900600 2019-1329 2015/09/27 (事故発生地) 神奈川県	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) A63L8	当該製品で走行中、フレームが破断し、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品は、フレームのメインパイプが破断していた。○破断部はハンガー近傍部で、溶接際を起点として疲労破壊が生じ、最終的にパイプ上側が破断していた。○同型フレームは、JIS D 3901「一般用自転車」の耐震性試験、疲労試験、落下衝撃試験、エネルギー吸収試験及び前倒し衝撃試験を満たしていた。●当該製品は、メインパイプの溶接部に亀裂が発生し、走行時の繰り返し荷重により亀裂が進展して破断に至ったものと推定されるが、亀裂が発生した時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/11)
A201900601 2019-1330 2010/04/24 (事故発生地) 山梨県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) BEW6TP	当該製品で下り坂を走行中、転倒し、負傷した。	調査の結果、○当該製品で急な下り坂を走行中、スピードが出過ぎたため後ブレーキレバーを握ったが、ブレーキレバーが内側に曲がっていたため握りきれずに転倒したとの申出内容であった。○後ブレーキレバーに内側への変形が認められたが、後ブレーキレバーを握り、ペダルを前方水平にして体重を掛けてもペダルは回転せず、後ブレーキの制動に異常は認められなかった。○前ブレーキは右側へ変形し、車輪とブレーキブロックが当たり、前輪の回転が重かった。○前後ブレーキレバーにBAA基準の制動テストに定める入力(180N)を加えたところ、ハンドルグリップとブレーキレバーの間に隙間があり、正常に調整されていた。●当該製品は、後ブレーキの制動力に異常は認められず、急な下り坂でスピードが出過ぎたために転倒したものと推定されるが、前ブレーキが変形した時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/11)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900613 2019-1349 2014/09/20 (事故発生地) 佐賀県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) A B 6 5 L 3	子供(12歳)が当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品に乗車し、直進中に突然前輪が止まり、前のめりに転倒した。○前泥よけ中央部付近が折れ曲がり、前泥よけステーが上側に変形していた。○前泥よけのフラップ内側に、タイヤとの接触痕が認められた。○前泥よけからペダルまでの距離(トウクリアランス)は、JIS規格を満たしていた。○バスケット、握り、ブレーキレバー及びペダルに外傷が認められたが、その他の装着部品に異常は認められなかった。●当該製品は、走行中に前泥よけが前輪に巻き込まれ、前輪がロックし、転倒したものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/16)
A201900616 2019-1352 2011/10/08 (事故発生地) 岡山県	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) R S 6 8 L 8	当該製品で走行中、サドルが動き、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品で走行中、歩道との段差に前輪が乗ると同時にサドルが動いて転倒した。○破断したシートポストの固定ボルトは、確認できなかった。○サドル固定金具のボルト穴の後側に、ボルトと強く接触した圧痕が認められた。○サドル固定金具のセレーションに、サドルが緩んでいた痕跡が認められた。○舟線に、サドルが後端位置で固定されていた痕跡が認められた。●当該製品は、シートポストの固定ボルトが緩んでいたため、固定ボルトに繰り返し荷重が加わり、固定ボルトが破断したものと推定されるが、固定ボルトが確認できず、固定ボルトが緩んだ時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/16)
A201900617 2019-1353 2011/04/30 (事故発生地) 岡山県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) L 7 3 B T P	当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、負傷した。	調査の結果、○前ホークが両足とも後方に、前輪のスパーク1本が回転方向と逆向きに変形していた。○前輪が左側に寄り、タイヤが左前ホーク足及び前ブレーキの左ブレーキブロックに接触していた。○前照灯ヘッドケースのタイヤ寄り内側に、擦れ痕等が認められた。○当該製品に装着された各部品の組立調整に異常は認められなかった。●当該製品は、前輪に異物が巻き込まれて前輪がロックしたものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/16)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900619 2019-1355 2013/05/16 (事故発生地) 愛知県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) SDS7BT	当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品は、前ホークが後方及び左側に変形していた。○前輪の右側スポークが回転方向と逆側に変形し、前輪に横振れが認められた。○左前ホーク足後側に汚れが付着していたが、右前ホーク足後側に汚れは付着していなかった。●当該製品は走行中に前輪右側に異物が巻き込まれたため、前輪がロックし、転倒に至ったものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/16)
A201900626 2019-1371 2013/05/02 (事故発生地) 愛知県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) HE7WTP	当該製品で下り坂を走行中、前輪がロックし、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品は、前ホークが後方に変形し、左前ホーク足が外側に膨らんでいた。○前輪に横振れがあり、左側スポークが回転方向と逆側に変形していた。○右前ホーク足後側に汚れが付着していたが、左前ホーク足後側に汚れは付着していなかった。●当該製品は走行中に前輪左側に異物が巻き込まれたため、前輪がロックし、転倒に至ったものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/17)
A201900628 2019-1373 2018/09/28 (事故発生地) 埼玉県	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) BG0B48	当該製品に乗車しようとしたところ、左ハンドルグリップが外れ、転倒、負傷した。	調査の結果、○自宅前で当該製品に乗車し、走行しようとしたところ、左ハンドルグリップが外れ、転倒したとの使用者からの申出内容であった。○左ハンドルグリップは容易に回転し、抜ける状態であった。○同等品のハンドルグリップを同等品のハンドルバーに装着して離脱力を測定したところ、JISD9413「自転車-にぎり」の基準値(100N以上)を満たしていた。○当該製品は確認できなかった。●当該製品の左ハンドルグリップの離脱力が低下していたため事故に至った可能性が考えられるが、離脱力が低下した時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/17)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900634 2019-1379 2016/11/07 (事故発生地) 宮城県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) AB75L5	当該製品で走行中、泥よけが前輪に巻き込まれ、前輪がロックし、転倒、負傷した。	調査の結果、○前輪のスポークと前泥よけステーの左脚に線材が引っ掛かっていた。○前泥よけが折れ曲がってタイヤと前ホークの間に巻き込まれ、前輪がロックした状態であり、前泥よけステー、前輪スポーク及び前ホークに変形が認められた。○前泥よけの内側に取り付けられているステー取付部は、正しい向きで組み付けられた位置から前泥よけステーの左脚が持ち上がる方向に120度回転していた。○線材を巻き込んだ側の前泥よけが、車輪の回転方向に持ち上がった痕跡が認められた。○当該製品は確認できなかった。●当該製品は、走行中に線材が前輪に巻き込まれたため、前輪がロックしたものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/17)
A201900637 2019-1382 2007/03/01 (事故発生地) 千葉県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) EH60U	使用者(70歳代)が当該製品で走行中、ハンドルを切ったところ、転倒、負傷した。	調査の結果、●事故発生から時間が経過しており、当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明であったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/17)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900638 2019-1383 2012/01/06 (事故発生地) 千葉県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) FE7STP	当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、左膝を負傷した。	調査の結果、○使用者が走行中にハンドルを右に切って道路を横断した後に、ハンドルが突然ロックし、バランスを崩して転倒したとの申出内容であった。○当該製品のハンドルロック取付部の3本のねじのうち、2本が緩み、1本が脱落していた。○ハンドルロックはがたついており、ハンドルロックを上を持ち上げてハンドルを旋回させたところ、異音が認められた。○ロックレバーに補強板及び上玉押しとの接触痕があり、補強板及び上玉押しにはロックレバーとの接触痕が認められた。○ハンドルロック取付部のねじ頭に緩められた痕跡が認められた。○ハンドルロック取付部のねじが緩んで、ロックレバーと補強板の間に隙間が発生し、ハンドルロック内部のロックレバーの片側(上玉押しと反対側)が約2mm浮き上がると、ロックレバーはロック方向に約2mm突出し、ハンドルがロックする可能性が認められた。●当該製品のハンドルロック取付部のねじが適切に締め付けられていない状態で走行していたため、ハンドルロック内部のロックレバーにがたつきが生じ、上玉押しと接触したことでハンドルがロックして事故に至ったものと推定されるが、ねじが適切に締め付けられていなかった原因の特定には至らなかったことから、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/17)
A201900639 2019-1384 2013/05/20 (事故発生地) 群馬県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) NE7ST	当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、左手を負傷した。	調査の結果、○使用者は、当該製品で走行中、自宅付近で突然前輪がロックし、転倒、左手を負傷したとの申出内容であった。○前ホークは、後方及び左側に変形していた。○車輪の振れ(JIS D 9301「一般用自転車」、規格値：1.0mm以下)を測定したところ、前輪の横振れは4.5mmであり、前輪に横振れが発生した。○右前ホーク足の後側に汚れの付着はなく、左前ホーク足の後側に軽微な汚れが認められた。○前輪の右側のスポークが回転方向と逆側に僅かに変形していた。○当該製品に装着された部品に脱落等は認められなかった。●当該製品は、走行中に前輪右側に異物が巻き込まれたため、前輪がロックし、転倒したのと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/18)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900641 2019-1386 2008/06/23 (事故発生地) 新潟県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) RA7LTP	当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、左手首を負傷した。	調査の結果、○当該製品は、前ホークが後方に変形していた。○前輪の右側スポークが5本破断していた。○右前ホーク足の内側に擦り傷が認められた。○前泥よけに著しい変形は認められないが、ゴム製フラップにタイヤと擦れた痕跡が認められた。○同等品の前ホークのエネルギー吸収性は、JIS基準を満たしていた。 ●当該製品は、走行中に前輪右側に異物が巻き込まれたため、前輪がロックし、転倒したものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/18)
A201900642 2019-1387 2007/05/26 (事故発生地) 神奈川県	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) A63NK	当該製品に乗車しようとペダルを踏み込んだところ、ペダルが回らず、転倒、右足を負傷した。	調査の結果、○5.5kgの荷物を後かごに載せ、当該製品に乗り、上の位置にあったペダルを踏み込んだところペダルが回らず、バランスを崩して転倒したとの使用者からの申出内容であった。○当該製品のクランク軸の回転は滑らかであり、引っ掛かり等の異常は認められなかった。○当該製品の右側のペダル及びクランク軸周辺に、著しい変形や破損等は認められなかった。○当該製品のペダルを上位置にして、10回以上発進を繰り返した結果、異常は認められなかった。○当該製品は確認できなかった。●事故発生時の詳細な状況が不明であり、当該製品を確認できず、ペダルが回転しない要因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/18)
A201900643 2019-1388 2011/09/05 (事故発生地) 神奈川県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) RAL7TP	当該製品で走行中、転倒し、左手指を負傷した。	調査の結果、○走行中に突然前後タイヤが右側に滑る感覚に陥り、傾いて左側に転倒した。○当該製品の各部に異常は認められなかった。○実走行においてハンドル操作やブレーキ操作に異常は認められなかった。○当該製品は、走行時にハンドル操作ができなくなるおそれがあるため、2019年6月24日付けでリコールを行っている製品であったが、ハンドルロック及びサークルロックの異常の有無は確認されていなかった。●当該製品に転倒につながる異常は認められなかったが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/18)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900647 2019-1391 2012/06/26 (事故発生地) 大阪府	自転車 ブリヂストンサイクル(株) MR66ST	当該製品で走行中、自転車に衝突し、転倒、負傷した。	調査の結果、○交差点で自転車で衝突しバランスを崩し転倒した。衝突自体は大きなものではなく、当該製品のブレーキは利いていたという申出内容であった。○JIS規格に基づく路上試験及び操縦安定性試験を実施したが、当該製品にがたつき、異音、ふらつき、片切れ等の異常は認められなかった。○フレームの精度及び前ホークの精度は、JISの基準を満たしていた。○後輪の振れがJISの基準を少し超えていたが、前輪の振れは基準を満たしていた。○JIS規格に基づくブレーキの制動性能試験は、実施されていなかった。●当該製品は、操縦安定性等に異常は認められなかったが、ブレーキの制動性能が確認できず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/18)
A201900648 2013-2697 2013/09/18 (事故発生地) 長野県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) SD943	当該製品で走行中、前ホークが破損し、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品に乗車し、下り坂を下って未舗装路に入ったところで突然前ホークが破損し、転倒した。○当該製品は、2004年に製造を終了した製品であり、事故発生1か月前にインターネットオークションで購入された商品であった。○サスペンション付き前ホーク足上側(インナーパイプ)と下側(アウトパイプ)が上下に分離し、左側のインナーパイプが後方に変形していた。○前ホークのインナーパイプとアウトパイプを結合する樹脂部品が左右ともに破損していた。●当該製品は、サスペンション付き前ホーク内部の樹脂製部品が左右とも破損したため、前ホークが分離して破損したものと推定されるが、詳細な使用状況等が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/18)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900649 2019-1393 2015/01/31 (事故発生地) 東京都	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) A6L7	当該製品で走行中、フレームが破断し、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品は、フレームのメインパイプが破断していた。○破断部はハンガラグ近傍で、溶接際を起点として疲労破壊が生じ、最終的にパイプ上側が破断していた。○同型フレームは、JIS規格の耐振性試験、疲労試験、落下衝撃試験、エネルギー吸収試験及び前倒し衝撃試験を満たしていた。●当該製品は、メインパイプの溶接部に亀裂が発生し、走行時の繰り返し荷重により亀裂が進行して破断に至ったものと推定されるが、亀裂が発生した原因及び時期が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/18)
A201900650 2019-1394 2010/05/13 (事故発生地) 不明	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) A63SL	当該製品で走行中、前ホークが破断し、転倒、腰を負傷した。	調査の結果、○使用者は、平たん路を時速10km程度でゆっくり走行中、突然前ホークが破断し、転倒したとの申出内容であった。○当該製品は、左前ホーク足がホーク肩付近で破断しており、右前ホーク足のホーク肩及びホーク肩中央部に亀裂が入っていた。○破断した前ホーク足の破面は一樣に著しくさびていた。○左前ホーク足側の破断部に、後ろ側の起点部を中心に放射状に広がる疲労破面が認められた。○上玉押しに、鋼球による圧痕が認められた。●当該製品の左前ホーク足に亀裂が発生し、その後の使用に伴い亀裂が徐々に進展し、破断したものと推定されるが、亀裂が発生した時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/18)
A201900659 2019-1404 2019/07/29 (事故発生地) 愛知県	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) A6D61	使用者(70歳代)が当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、右足を負傷した。	当該製品は、ハンドルがロックされた状態で過大な力が加わると使用者に異常を知らせるためにハンドルロックのケースを意図的に破損させる設計であったが、ケースが破損すると内部のロックレバーの動きをガイドする溝が広がってロックレバーがカムから外れ、振動等でロックレバーが動いて意図せずロックが掛かる危険性に対して、技術的な保護対策が講じられていなかったため、ハンドルロックのケースが破損していた状態で走行した際に突然ハンドルがロックしたものと推定される。	再発防止措置として、ブリヂストンサイクル(株)は、2019年6月24日より、対象製品について、無償点検及び保護対策済品への改修を実施している。	(受付:2019/10/21)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900660 2019-1405 2019/03/18 (事故発生地) 東京都	自転車 ブリヂストンサイクル(株) CU63BT	当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、右指を負傷した。	当該製品は、ハンドルがロックされた状態で過大な力が加わると使用者に異常を知らせるためにハンドルロックのケースを意図的に破損させる設計であったが、ケースが破損すると内部のロックレバーの動きをガイドする溝が広がってロックレバーがカムから外れ、振動等でロックレバーが動いて意図せずロックが掛かる危険性に対して、技術的な保護対策が講じられていなかったため、ハンドルロックのケースが破損していた状態で走行した際に突然ハンドルがロックしたものと推定される。	再発防止措置として、ブリヂストンサイクル(株)は、2019年6月24日より、対象製品について、無償点検及び保護対策済品への改修を実施している。	(受付:2019/10/21)
A201900663 2019-1415 2018/05/12 (事故発生地) 東京都	自転車 ブリヂストンサイクル(株) CS7TP	当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、負傷した。	調査の結果、○使用者は、当該製品で走行中、突然前輪がロックし、当該製品が前方に一回転して路面にたたきつけられるように転倒し、負傷したとの申出内容であった。○前ホークが後方に变形していたが、メインフレーム等の外観に、著しい变形及び破損は認められなかった。○左前ホーク足がクラウン部から約20cm下の位置で外側に变形していた。○前輪ハブの左側フランジに結合されたスポーク2本がニップル先端から約20mmの位置で变形しており、变形位置は左前ホーク足の变形位置とほぼ一致した。○左右の前泥よけステーが外側に膨らみ、泥よけ体を前ホークに固定するL字金具が後方へ变形していたが、泥よけ体は变形していなかった。○前輪及びその周辺の構成部品の組み付け状態及び調整状態に異常は認められなかった。●当該製品は、左前ホーク足と前輪の間に異物が巻き込まれたことにより前輪がロックしたものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/21)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900665 2019-1416 2007/04/29 (事故発生地) 東京都	自転車 ブリヂストンサイクル(株) NSN76	当該製品で走行中、左クランクが破断し、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品の左クランクはペダルに近い部分で破断していた。○破面観察の結果、異物混入や巣は認められず、破断起点と推定される部位近傍に変色が見られ、破断形態は疲労破壊の様相を呈しており、最終破断以前に亀裂が進行していた痕跡が認められた。○左クランク破断部近傍の側面に打痕や予亀裂状の傷が認められた。○左クランクの硬さ試験の結果、同型新品と比較して大きな差はなく、硬度に問題は認められなかった。●当該製品は、何らかの強い外力や衝撃が左クランクに加わり、微細な亀裂が発生し、走行中の荷重や衝撃力により亀裂が徐々に進展し、疲労破壊したものと考えられるが、左クランクに亀裂が生じた時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/21)
A201900671 2019-1422 2008/08/16 (事故発生地) 千葉県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) NE60UT	当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、負傷した。	調査の結果、○使用者が当該製品で走行中に前輪から異音が発生し、前輪がロックし、転倒した。○当該製品は、前ホークが後方に変形していた。○前輪は、ニップルが8か所破断してスポークが外れおり、タイヤバルブも破断していた。○外れたスポークは、くの字に変形していた。○右前ホーク足の内側には、擦り傷が認められた。●当該製品は走行中に前輪右側に異物が巻き込まれたため、前輪がロックし、転倒したものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/23)
A201900672 2019-1423 2008/05/12 (事故発生地) 不明	自転車 ブリヂストンサイクル(株) AD7STP	当該製品で走行中、転倒し、右肩を負傷した。	調査の結果、●事故発生から時間が経過しており、当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明であったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/23)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900674 2019-1425 2008/01/13 (事故発生地) 大阪府	自転車 ブリヂストンサイクル(株) SR70SP	当該製品で走行中、右クランクが破断し、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品の右クランクは、ペダルが固定されたままペダルに近い位置で破断していた。○右クランク破断部の破面観察の結果、破断面の外側に同心円状に広がる縞模様と黒い変色が認められた。○破断面の内側に変色は見られず、不規則な凹凸と引きちぎられたような延性破面が認められた。○右クランクとギア板のカシメ固定部に著しいがたつきが認められた。○右ペダルに地面に複数回ぶつけたと思われる痕跡が認められた。○ハンガー一部とクランク軸間の接合部に著しいがたつきが認められた。●当該製品の右クランクに高い負荷が加わり使用された痕跡が認められたことから、ペダルを地面にぶつける等の衝撃により発生した微細な亀裂が起点となり、疲労破壊したものと考えられるが、右クランクに亀裂が生じた時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/23)
A201900681 2019-1440 2009/07/05 (事故発生地) 福井県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) NSW26	当該製品で走行中、転倒し、負傷した。	調査の結果、○当該製品は、前ホークが後方に変形し、右前ホーク足の外側から内側にかけて擦れ痕が認められ、茶色い異物が付着していた。○前輪左右スポークの12本が連続して変形し、破断しており、破断したニップルは伸びていた。○スポークの変形は回転方向と逆方向に丸くなっており、スポークや前ホークに絡み著しく変形していた。○前輪が左側に寄っており、タイヤと左前ホーク足の隙間が狭くなっていた。○ニップルはせん断力により頭部をスポーク穴に残した状態で延性破壊しており、スポークがタイヤの回転方向と逆方向に引っ張られたことによりニップルにせん断力が加わった様相を呈していた。○前泥よけステー右側が上側に膨らんでおり、白い異物が付着していた。○その他の各部品に破損等の異常は認められなかった。●当該製品は、前輪と前ホークの間に異物が挟まり、前輪がロックし、転倒に至ったものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/25)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900688 2019-1447 2009/02/27 (事故発生地) 大阪府	自転車 ブリヂストンサイクル(株) FR946	当該製品で走行中、シートポストが破損し、転倒、右肩を負傷した。	調査の結果、○当該製品で平坦路を走行中、突然シートポストの固定ボルトが破断して転倒し、負傷した。○固定ボルトの破断面に、起点部から亀裂が徐々に進行していった痕跡が認められた。○サドル固定金具の舟線取付部には擦れ痕が認められ、舟線の塗料が付着していた。○サドル固定金具及びシートポストのサドル取付部にあるセレーションに擦れた痕跡が認められた。○舟線に、過去にサドルの位置を組み付け直した痕跡が認められた。○固定ボルトが入手できなかったため、破断面の詳細な調査は実施できなかった。●当該製品は、シートポストの固定ボルトが緩んでいたため、固定ボルトに繰り返し荷重が加わり、固定ボルトが破断したものと推定されるが、固定ボルトが確認できず、固定ボルトが緩んだ時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/25)
A201900691 2019-1450 2013/07/19 (事故発生地) 静岡県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) CV7STP	当該製品で走行中、前ブレーキがロックし、転倒、負傷した。	調査の結果、○走行中にブレーキを掛けようとしたところ、硬くてうまく作動せず、当該製品から飛び降りて転倒したとの申出内容であった。○当該製品は、前ブレーキを固定している貫通ボルトが破断していた。○破断部はキャリパー本体側のねじ谷部であった。○貫通ボルト表面には、貫通ボルトの固定が緩んでいたことを示す前ホークとの擦れ痕が認められた。○破面は、ねじ谷部から亀裂が発生し、疲労破壊により破断に至っていた。●当該製品は、前ブレーキを固定している貫通ボルトに緩みがあったため、制動時に加わる応力で貫通ボルトが破断し事故に至ったものと推定されるが、貫通ボルトが緩んだ時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/25)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900697 2019-1456 2008/09/09 (事故発生地) 東京都	自転車 ブリヂストンサイクル(株) AG263T	幼児(4歳)を自転車用幼児座席に乗せて当該製品で走り出そうとしたところ、スタンドが地面に接触し、バランスを崩して転倒、幼児が右腕を負傷した。 (重傷)	調査の結果、○当該製品のリヤキャリアに取り付けた自転車用幼児座席に幼児を乗せた状態で走りだそうとしたところ、両立スタンドのバネが上がらず、地面に両立スタンドが引っ掛かった状態となり、バランスを崩して転倒したとの申出内容であった。○両立スタンドのフックに削れが認められたが、フックの作動は正常であり、跳ね上がり時の引っ掛かり等の異常な現象は確認できなかった。○左側取付板の形状に、バリや打痕等、フックの作動を阻害するような異常は認められなかった。○当該製品の両立スタンドを同等品の自転車に装着して再現試験を実施したところ、作動回数が増えるにつれて、フックを外して自転車を押し始めた状態において若干の抵抗を確認したが、両立スタンドの引っ掛かりは発生しなかった。●当該製品の両立スタンドのフックに削れが認められたが、当該製品が確認できず、跳ね上がり時の引っ掛かり状況を調査できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/25)
A201900711 2019-1479 2008/08/18 (事故発生地) 埼玉県	自転車用幼児座席 ブリヂストンサイクル(株) RCS-SDX	幼児(4歳)を当該製品に乗せて自転車で走行中、幼児の左足が後輪に巻き込まれ、負傷した。 (重傷)	当該製品は、使用中に繰り返される負荷により足乗せ部が破損し、足乗せ部が外れ、事故の発生に至ったものと考えられる。	再発防止措置として、ブリヂストンサイクル(株)は、2010年(平成22年)9月21日にプレスリリース、ウェブサイトへの情報掲載、翌22日に新聞社告を行い、その後、同社のオンライン登録者へのメール送付、子育て中の女性向けウェブサイトへの広告の掲載、育児雑誌への広告の掲載などを実施し、現在も継続して、グループ会社を含めウェブサイトでの案内、製品(自転車、電動アシスト自転車)へのチラシ同梱を実施するなど、対象製品について無償製品交換を実施している。	(受付:2019/10/28)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900739 2019-1514 2006/08/00 (事故発生地) 不明	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) AF60	使用者(70歳代)が当該製品で走行中、転倒し、腰を負傷した。	調査の結果、●事故発生から時間が経過しており、当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明であったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/31)
A201900740 2019-1515 2013/06/21 (事故発生地) 群馬県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) FL63U	使用者(70歳代)が当該製品で走り出そうとしたところ、ハンドルステムが破断し、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品は、ハンドルステムが破断していた。○ハンドルステムの引上げ棒が、破断位置から下側が曲がっていた。○ハンドルステムの破断面には、破面同士が擦れ合った痕跡が認められた。○当該製品に、ハンドルステムの亀裂が生じた原因となる衝突した痕跡等は認められなかった。●当該製品は、ハンドルステムに生じた亀裂が使用により徐々に進展し、破断に至ったものと推定されるが、亀裂が発生した時期及び原因並びに詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/31)
A201900743 2019-1517 2014/08/19 (事故発生地) 愛知県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) BA60T4	幼児(1歳)を前部の自転車用幼児座席に乗せて使用者が当該製品のスタンドを立て停車中、当該製品が転倒し、幼児が負傷した。	調査の結果、●事故発生から時間が経過しており、当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明であったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/10/31)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900758 2019-1538 2014/09/20 (事故発生地) 東京都	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) A63SL	当該製品で走行中、フレームが破断し、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品で歩道を走行中、左折しようとした際に、フレームが破断し、転倒したとの申出内容であった。○当該製品のフレームはメインパイプのドライブユニット取付けブラケット付近で破断していた。○破断面は溶接際を起点として疲労破壊しており、天面側が最終破断部であった。●当該製品は、メインパイプの溶接部に亀裂が発生し、走行時の繰り返し荷重により亀裂が進展して破断に至ったものと推定されるが、亀裂が発生した時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/05)
A201900759 2019-1539 2009/05/15 (事故発生地) 長野県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) PT73BT	当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品の前ホーク足は、左右とも後方へ変形し、フレームの下パイプと前泥よけの隙間がなくなっていた。○前ホーク足は、左右とも右側に湾曲しており、前タイヤが右前ホーク足に接触していた。○前輪リムの横振れは0.8mm、縦振れは1.15mmで、縦振れの最も大きい部分である右側のリム壁面は一部変形し、変形箇所近辺のタイヤ側面に何かに当たった痕跡が認められた。●当該製品は、前輪に外力が加わった際にブレーキが掛かった可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/05)
A201900760 2019-1527 2019/08/16 (事故発生地) 宮城県	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) A6SL8	当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、右肘を負傷した。	当該製品は、ハンドルがロックされた状態で過大な力が加わると使用者に異常を知らせるためにハンドルロックのケースを意図的に破損させる設計であったが、ケースが破損すると内部のロックレバーの動きをガイドする溝が広がってロックレバーがカムから外れ、振動等でロックレバーが動いて意図せずロックが掛かる危険性に対して、技術的な保護対策が講じられていなかったため、ハンドルロックのケースが破損していた状態で走行した際に突然ハンドルがロックしたものと推定される。	再発防止措置として、ブリヂストンサイクル(株)は、2019年6月24日より、対象製品について、無償点検及び保護対策済みへの改修を実施している。	(受付:2019/11/05)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900789 2019-1608 2015/03/12 (事故発生地) 大阪府	自転車 ブリヂストンサイクル(株) JG203T	当該製品で走行中、ブレーキを掛けたところ、ハンドルが回り、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品はハンドルバーが前方向に回転した状態であった。○ハンドルバーを固定しているハンドルポストの固定ボルトの締付トルクは3～4N・mで事業者規定値の18～20N・mを大きく下回っていた。○事業者が当該製品を受け取った時点でのハンドルバーとハンドルポストの固定力はJIS D 9301「一般用自転車」の基準を満たしていなかったが、固定ボルトを規定トルクで締め付けたところ基準を満たすことが確認された。○ハンドルバーのローレット部寸法、ハンドルポスト固定部及びボルトのねじ精度に異常は認められなかった。●当該製品は、ハンドルバー及びハンドルポストの各部に異常は認められず、固定ボルトを規程トルクで締め付けた場合、十分な固定力を有していたことから、ハンドルポストの締め付けが緩かったために発生したものと考えられるが、詳細な使用状況、ハンドルポストが緩んだ時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/12)
A201900791 2019-1609 2015/05/11 (事故発生地) 千葉県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) RFX8EP	当該製品で走行中、サドルが脱落し、転倒、臀部を負傷した。	調査の結果、○当該製品は、シートポストの固定ボルトが折損しており、起点から破断面の約2/3まで疲労破壊の痕跡が認められた。○サドル固定金具の穴後側に固定ボルトと強く接触した圧痕が認められた。○シートポストのサドル固定部のセレーション(ギザギザ山部分)が潰れており、サドルの舟線にサドル固定金具との組付痕が広範囲に認められた。○固定ボルトの亀裂が生じた原因は確認できなかった。●当該製品は、シートポストの固定ボルトが緩んでいたため、固定ボルトに繰り返し荷重が加わり破断したものと推定されるが、固定ボルトが緩んだ時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/12)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900804 2019-1631 2019/01/18 (事故発生地) 大阪府	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) A6R14	当該製品で走行中、転倒し、右足を負傷した。	調査の結果、○夜間に多少の凸凹がある道路を当該製品で走行中、突然ハンドルを取られて転倒したとの使用者の申出内容であった。○前輪、前ホーク及び前泥よけステーに前輪の回転を阻害する異物の巻き込みによる損傷やその痕跡は認められなかった。○ハンドルロックのロックレバー及びばねは回収時に取り外されており、事故発生時のハンドルロックの動作状況を確認することができなかった。○ロックレバー及びばねを装着した状態でハンドルロックの施錠及び開錠動作を確認したところ、異常は認められなかった。○運動ワイヤーに変形や屈曲、被覆の損傷等はなく、インナーの摺動も円滑で、異常は認められなかった。○サークルロック内部に異物等はなく、運動ワイヤー及びスライダの組付状態並びにスライダの摺動状態に異常は認められなかったが、内部は著しく汚れており、事故発生時のスライダの摺動状況は不明であった。○当該製品に乗車し、直進、スラローム、左右旋回、前後ブレーキによる制動等の走行動作を確認した結果、異常は認められなかった。●当該製品に転倒につながる異常は認められないことから、凹凸のある道路を走行中にハンドルを取られて転倒した可能性が考えられるが、事故発生時のハンドルロックの動作状況及び詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/14)
A201900813 2019-1646 2008/12/07 (事故発生地) 千葉県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) FV63UT	当該製品で走行中、転倒し、左膝を負傷した。	調査の結果、○使用者は、砂利の駐車場でハンドルを取られて転倒し、左膝半月板を骨折した。○当該製品のハンドル操舵角度は、左右とも若干しか動かない状態であった。○メインフレームのヘッド部にある上玉押しリテーナーは、リテーナーの枠部が広げられる方向に変形してベアリングを保持できなくなっており、ベアリングと上玉押し縁部が接触した状態であった。●当該製品は、リテーナーが破損したことにより、ベアリングと上玉押し縁部が接触し、ハンドル操作が重くなり、バランスを崩し、転倒したものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況、リテーナーが破損した時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/19)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900814 2019-1647 2008/10/05 (事故発生地) 石川県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) BF76TP	当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、右膝を負傷した。	調査の結果、○前ホークは後方に变形しており、左前ホーク足は外側へ膨らみ、变形していた。○前輪左側スポーク2本は進行方向と反対方向に若干丸く内側へ变形しており、变形したスポークに擦れ痕が認められた。○前輪は右側に变形しており、右前ホーク足に接していた。○前ブレーキ(キャリパブレーキ)の右ブレーキブロックが外されていた。○その他の装着部品や組立調整に異常は認められなかった。●当該製品は、走行中に前輪左側から異物が巻き込まれて前輪がロックしたため、転倒したものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/19)
A201900815 2019-1648 2009/11/20 (事故発生地) 神奈川県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) BLC73	子供が当該製品で走行中、ブレーキが効かず、壁に衝突し、転倒、左手首を負傷した。	調査の結果、○前ホークは後方に变形していた。○BAA基準に基づき、前ブレーキレバーに握る力として180Nを加え、制動性能を測定したところ、ブレーキブロックがリムに半分ほどしか当たっていないため、基準を満たさなかった。○後ブレーキレバーは150Nでハンドグリップに接触したため、その状態で制動性能を測定したところ、BAA基準を満たしていた。○後ブレーキレバーに握る力として150N、前ブレーキレバーに握る力として180Nを加え、制動性能を測定したところ、BAA基準を満たしていた。○当該製品が返却された状態での、実走による走行試験を行った結果で、正常に停止できた。●当該製品は、後ブレーキ単独及び前後ブレーキ同時に掛けたときの制動性能はBAA基準を満たしていたが、事故発生時の前ブレーキの制動性能及び詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/19)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900821 2019-1661 2019/09/23 (事故発生地) 京都府	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) A4L82	当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、左膝を負傷した。	当該製品は、ハンドルがロックされた状態で過大な力が加わると使用者に異常を知らせるためにハンドルロックのケースを意図的に破損させる設計であったが、ケースが破損すると内部のロックレバーの動きをガイドする溝が広がってロックレバーがカムから外れ、振動等でロックレバーが動いて意図せずロックが掛かる危険性に対して、技術的な保護対策が講じられていなかったため、ハンドルロックのケースが破損していた状態で走行した際に突然ハンドルがロックしたものと推定される。	再発防止措置として、ブリヂストンサイクル(株)は、2019年6月24日より、対象製品について、無償点検及び保護対策済品への改修を実施している。	(受付:2019/11/21)
A201900828 2019-1670 2009/12/04 (事故発生地) 三重県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) PV6TP	当該製品で坂道を走行中、前輪がロックし、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品は、前ホークが後方に変形しており、左前ホーク足は外側に膨らんでいた。○右前ホーク足内側に泥汚れが付着していたが、左前ホーク足内側に汚れの付着は認められなかった。○前輪左側のニップル1個が破断し、スポークが回転方向と逆側に湾曲していた。●当該製品は、走行中に前輪左側に異物が巻き込まれたため、前輪がロックし、転倒に至ったものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/22)
A201900829 2019-1671 2010/05/09 (事故発生地) 不明	自転車 ブリヂストンサイクル(株) NSS76A	当該製品で下り坂を走行中、前輪がロックし、転倒、左手首を負傷した。	調査の結果、○緩い下り坂を当該製品のペダルに足を乗せた状態で走行中、急に前輪がロックし、1回転して転倒したとの使用者からの申出内容であった。○当該製品の前ホークが後方に変形していた。○前泥よけは内側に折れ曲がった痕跡があり、前泥よけステーは上方に変形し、前泥よけ後方のフラップの左側は上方向に折れ曲がっていた。○前タイヤ左側に強く擦れた痕跡が認められた。●当該製品は、走行中に左側から異物が当たったことで前泥よけがタイヤに巻き込まれて前輪がロックしたものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/22)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900853 2019-1715 2009/07/30 (事故発生地) 新潟県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) BTD8TP	子供(11歳)が当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、右手首を負傷した。	調査の結果、○当該製品は、前ホークが後方に変形していた。○右前ホーク足は、外側に膨れており、内側には擦れ痕が認められた。○前輪の右側スポーク2本は、回転方向と逆方向に僅かに変形していた。●当該製品は、走行中に前輪右側に異物が巻き込まれたため、前輪がロックし、転倒に至ったものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/28)
A201900854 2019-1716 2008/08/22 (事故発生地) 京都府	自転車 ブリヂストンサイクル(株) SDS7TP	当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、右手を負傷した。	調査の結果、○使用者は、当該製品で走行中、突然前輪がロックして、後輪が持ち上がり転倒したとの申出内容であった。○前ブレーキ(キャリパブレーキ)右側のアーム取付ボルト部分で左右のブレーキアームが破断していたが、変形等は認められなかった。○前ブレーキアームの破断面にピンホールが認められたが、同等品と同程度であった。○前ブレーキアームの破断面は、疲労破面とは異なっていた。○同等品の前ブレーキを用い、JIS D 9414:2008「自転車ブレーキ」に規定されるブレーキ本体の繰返し強度試験を実施した結果、基準を満たしていた。○同等品の前ブレーキが壊れるまで静荷重を加える破壊試験を実施した結果、当該製品と同様な破断は認められなかった。●当該製品で走行中、前ブレーキが破断し、脱落した前ブレーキが前輪に巻き込まれてロックし、転倒した可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/28)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900855 2019-1717 2017/08/04 (事故発生地) 不明	自転車 ブリヂストンサイクル(株) AB75S	子供(12歳)が当該製品でブレーキを掛けながら下り坂を走行中、転倒し、負傷した。	調査の結果、○当該製品で直線の下り坂を走行中、後ブレーキの利きが悪く、前ブレーキを掛けたところ、スリップして転倒した。○当該製品は、購入当初から後ブレーキの利きが悪かった。○事故発生後、販売店で後ブレーキをみてもらったところ、後ブレーキの利が悪いので、無償交換すると言われた。○事故発生後に販売店で修理された当該製品の後ブレーキの制動性能は、JIS基準を満たしていた。●当該製品は、事故発生後に販売店で修理された後ブレーキの制動性能に異常は認められなかったが、事故発生時の詳細な状況及び事故発生後に販売店が行った修理内容が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/11/28)
A201900863 2019-1751 2010/12/14 (事故発生地) 東京都	自転車 ブリヂストンサイクル(株) EH63UT	使用者(70歳代)が当該製品で走行中、転倒し、右膝を負傷した。	調査の結果、○使用者は、当該製品で走行中、サドルの舟線が突然破断し、バランスを崩して転倒したとの申出内容であった。○事故発生時の詳細な状況は不明であった。○当該製品を確認できなかった。●当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/12/02)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900864 2008-0429 2008/03/19 (事故発生地) 東京都	自転車 ブリヂストンサイクル(株) SF83T	使用者(70歳代)が当該製品で走行中、サドルが破損し、転倒、腰を負傷した。	調査の結果、○当該製品のサドルは、左右の舟線がシートポスト取付金具(やぐら)の前部で、2本とも破断していた。○破断面は、2本の舟線とも、破面最上部を起点に破断しており、上部に疲労破壊の特徴であるストライエーションが、破面下部に延性破面の特徴であるディンプルが認められたが、異物混入や気泡等の破断の原因となるような製造上の欠陥は認められなかった。○2本の舟線とも、疲労破面部にさびの発生が認められたが、著しいものではなかった。○破断した舟線の硬度は、同等品と同程度であった。●当該製品は、サドル下の2本の舟線上部に亀裂が生じ、その後の使用に伴う荷重や振動等により疲労破壊して破断し、サドルが傾き、バランスを崩したために転倒したものと考えられるが、舟線に亀裂が生じた時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/12/02)
A201900866 2019-1746 2019/10/13 (事故発生地) 埼玉県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) CU60P	使用者(70歳代)が当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、胸を負傷した。	当該製品は、ハンドルがロックされた状態で過大な力が加わると使用者に異常を知らせるためにハンドルロックのケースを意図的に破損させる設計であったが、ケースが破損すると内部のロックレバーの動きをガイドする溝が広がってロックレバーがカムから外れ、振動等でロックレバーが動いて意図せずロックが掛かる危険性に対して、技術的な保護対策が講じられていなかったため、ハンドルロックのケースが破損していた状態で走行した際に突然ハンドルがロックしたものと推定される。	再発防止措置として、ブリヂストンサイクル(株)は、2019年6月24日より、対象製品について、無償点検及び保護対策済品への改修を実施している。	(受付:2019/12/02)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900899 2019-1802 2010/03/06 (事故発生地) 不明	折りたたみ自転車 ブリヂストンサイクル(株) T S 2 0 7	当該製品で走行中、フレームが破断し、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品は、本体フレームの折り畳みヒンジ前側溶接部が破断していた。○破面を観察した結果、周方向に1/4周にわたり黒く変色していたが、起点部付近の詳細な観察ができなかった。○ヘッドパイプの下わんの一部に鋼球による圧痕が認められた。●当該製品は、折り畳みヒンジ部に亀裂が入り、使用による繰り返し荷重により徐々に亀裂が進展して破断に至ったものと推定されるが、亀裂が発生した時期及び原因並びに事故発生以前の使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/12/06)
A201900917 2019-1822 2007/07/06 (事故発生地) 不明	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) A 6 L 7	当該製品で走行中、転倒し、左足を負傷した。	調査の結果、●事故発生から時間が経過しており、当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明であったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/12/10)
A201900918 2007-1837 2007/03/28 (事故発生地) 新潟県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) A B 7 T P S	当該製品で走行中、後輪がロックし、転倒、両腕を負傷した。	調査の結果、●事故発生から時間が経過しており、当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明であったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/12/10)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900920 2019-1825 2017/01/10 (事故発生地) 東京都	自転車 ブリヂストンサイクル(株) NS734	当該製品で走行中、ハンドルが破断し、左手を負傷した。	調査の結果、○使用者が当該製品で舗装道路を走行中、立ちこぎをした瞬間にハンドルバーが破断し、左手を負傷した。○ハンドルバーは、ハンドルステムのクランプ部右側から約15mmの位置で破断していた。○破面を観察した結果、後方斜め上方向の位置に破断の起点となるラチェットマークが認められ、ハンドルバー全周の2/3程度に一気に破断した痕跡を示す延性破面が認められたが、亀裂が発生した原因の特定には至らなかった。○ハンドルバーの破断起点部近傍に外傷を確認した。○ハンドルバーの寸法、板厚及び強度に異常は認められなかった。●当該製品は、ハンドルバーに微細な亀裂が発生し、繰り返し使用により亀裂が進展し、事故発生時にハンドルバーに対して荷重が加わった際に破断した可能性が考えられるが、ハンドルバーに亀裂が発生した時期及び原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/12/10)
A201900922 2019-1827 2016/11/19 (事故発生地) 徳島県	自転車 ブリヂストンサイクル(株) CFJ47T	子供(8歳)が当該製品で下り坂を走行中、ブレーキが効かず、壁に衝突し、転倒、負傷した。	調査の結果、○当該製品を購入した当日、堤防上の道から堤防下の道へ下る際に、ブレーキが利かず、ブロック塀に衝突し、負傷したとの使用者からの申出内容であった。○当該製品は、前ホークに後方及び右側への変形が認められた。○左右の前ブレーキブロックは、上側半分のみが摩耗し、前輪のリムとタイヤの境界付近にブレーキブロックとの接触痕が認められた。○下玉押しに圧痕が認められた。○フレームに顕著な変形や溶接部の亀裂、塗膜割れ等は認められなかった。○当該製品を購入した時点の整備状況、使用状況等は不明であった。●当該製品は、前ブレーキの組み付け不備又は使用者の操縦の誤りにより事故に至った可能性が考えられるが、購入時の整備状況、使用状況及び事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/12/11)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201901076 2019-2096 2019/04/02 (事故発生地) 不明	自転車 ブリヂストンサイクル(株) ALR7TP	当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、右足を負傷した。	当該製品は、ハンドルがロックされた状態で過大な力が加わると使用者に異常を知らせるためにハンドルロックのケースを意図的に破損させる設計であったが、ケースが破損すると内部のロックレバーの動きをガイドする溝が広がってロックレバーがカムから外れ、振動等でロックレバーが動いて意図せずロックが掛かる危険性に対して、技術的な保護対策が講じられていなかったため、ハンドルロックのケースが破損していた状態で走行した際に突然ハンドルがロックしたものと推定される。	再発防止措置として、ブリヂストンサイクル(株)は、2019年6月24日より、対象製品について、無償点検及び保護対策済品への改修を実施している。	(受付:2020/01/28)
A201901112 2019-2151 2019/04/15 (事故発生地) 大阪府	電動アシスト自転車 ブリヂストンサイクル(株) A6D83	当該製品で走行中、転倒し、胸部を負傷した。	調査の結果、○使用者は、当該製品で自宅近隣を走行中、ブレーキに違和感があり、歩道のフェンス側へ転倒した。また、サークルロックの動きが悪かったため、事故発生以前に販売店にてサークルロック、ハンドルロックのロックレバー及び連動ワイヤーを取り外したとの使用者からの申出内容であった。○前輪及び後輪の回転に異常はなく、前輪、前ホーク及び前泥よけステーに異物の巻き込みによる損傷等の痕跡は認められなかった。○前ブレーキは、制動時に右ブレーキブロックがタイヤと接触する状態であり、右ブレーキブロックに削れたタイヤの付着が認められた。○後ブレーキの組付状態に異常は認められなかった。○メインパイプ下部にあるワイヤー類を束ねるためのクリップが外れており、ワイヤー類にたるみが認められた。○ワイヤー類を束ねるクリップ付近にひもが挟まっており、ひもの端部は引きちぎられたような状態であった。○走行試験を行った結果、前後のブレーキは正常に動作し、ブレーキが意図せず動作する状況は認められなかった。●当該製品で走行中、使用者の衣服や荷物等のひもがワイヤーに挟まったため、バランスを崩し、転倒した可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2020/02/04)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201901242 2019-2406 2015/11/02 (事故発生地) 東京都	自転車 ブリヂストンサイクル(株) CC40TP	当該製品で走り出そうとしたところ、ハンドルがロックし、転倒、左足を負傷した。	当該製品は、ハンドルがロックされた状態で過大な力が加わると使用者に異常を知らせるためにハンドルロックのケースを意図的に破損させる設計であったが、ケースが破損すると内部のロックレバーの動きをガイドする溝が広がってロックレバーがカムから外れ、振動等でロックレバーが動いて意図せずロックが掛かる危険性に対して、技術的な保護対策が講じられていなかったため、ハンドルロックのケースが破損していた状態で走行した際に突然ハンドルがロックしたものと推定される。	再発防止措置として、ブリヂストンサイクル(株)は、2019年6月24日より、対象製品について、無償点検及び保護対策済品への改修を実施している。	(受付:2020/03/23)
A201901259 2020-0002 2019/08/31 (事故発生地) 東京都	自転車 ブリヂストンサイクル(株) J73TP3	使用者(80歳代)が当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、負傷した。	当該製品は、ハンドルがロックされた状態で過大な力が加わると使用者に異常を知らせるためにハンドルロックのケースを意図的に破損させる設計であったが、ケースが破損すると内部のロックレバーの動きをガイドする溝が広がってロックレバーがカムから外れ、振動等でロックレバーが動いて意図せずロックが掛かる危険性に対して、技術的な保護対策が講じられていなかったため、ハンドルロックのケースが破損していた状態で走行した際に突然ハンドルがロックしたものと推定される。なお、取扱説明書には、開錠後の乗車前に、「ハンドルロックのケースに破損がないことを必ず確認する。」旨、及び「破損していると内部のハンドルロック機構が正常に作動しないことがあり危険である。」旨、記載されている。	再発防止措置として、ブリヂストンサイクル(株)は、2019年6月24日より、対象製品について、無償点検及び保護対策済品への改修を実施している。	(受付:2020/03/26)
A202000162 2020-0315 2020/06/01 (事故発生地) 福岡県	自転車用空気入れ (株)サギサカ 33329	当該製品を使用中、蓄圧タンク部が破損し、左手指を負傷した。	当該製品は、蓄圧タンクの台座接合部に曲げ加工が施されていないため、蓄圧タンクが使用時の内圧に耐えられず、台座から分離し、事故に至ったものと推定される。	再発防止措置として、(株)サギサカは、品質基準、品質管理の徹底できる工場に変更して金型の見直しを実施し、検査基準にタンク部の目視検査も追加して再発防止の対策を行った。	(受付:2020/06/11)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900117 2019-0330 2019/04/20 (事故発生地) 岩手県	チェーンソー ハスクバーナ・ゼノア(株) 550XP	当該製品を使用中、建物3棟を全焼、1棟を類焼する火災が発生した。(A201900118と同一事故)	調査の結果、○倉庫入口付近で当該製品及び同メーカーのチェーンソーの2台のエンジンを掛け、刃はロックした状態でその場を離れたところ、約10分後に倉庫が火災になった。○当該製品の焼損は著しく、焼残物は、チェーンソーの刃、ガイドバー及び溶融した金属だけであった。○第一発見者は、倉庫のシャッター付近から煙と炎が噴き出しているのを目撃した。○倉庫の焼け方から、当該製品が置かれていた場所から灯油缶等が置かれていた間の約6メートルの火が強かったと推定された。○倉庫内に火の気はなかった。●当該製品は、当該製品又は当該製品が置かれていた近傍が出火元の可能性があるが、焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/05/21)
A201900118 2019-0331 2019/04/20 (事故発生地) 岩手県	チェーンソー ハスクバーナ・ゼノア(株) 135e	当該製品を使用中、建物3棟を全焼、1棟を類焼する火災が発生した。(A201900117と同一事故)	調査の結果、○倉庫入口付近で当該製品及び同メーカーのチェーンソーの2台のエンジンを掛け、刃はロックした状態でその場を離れたところ、約10分後に倉庫が火災になった。○当該製品の焼損は著しく、焼残物は、チェーンソーの刃、ガイドバー及び溶融した金属だけであった。○第一発見者は、倉庫のシャッター付近から煙と炎が噴き出しているのを目撃した。○倉庫の焼け方から、当該製品が置かれていた場所から灯油缶等が置かれていた間の約6メートルの火が強かったと推定された。○倉庫内に火の気はなかった。●当該製品は、当該製品又は当該製品が置かれていた近傍が出火元の可能性があるが、焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/05/21)